



いそごポケット

— 磯子区統計白書 —



令和2年度版



区のシンボルマーク（昭和58年10月制定）



このシンボルマークは、区民の交流と連帯の象徴として公募により制定されました。磯子区の頭文字『イ』をひらがなとローマ字の『i』（愛）で象徴化し、海に隣接する区にふさわしいよう、波と未来に向う太陽をデザインしたものです。

区の木・区の花デザインマーク（平成9年10月制定）

区の木・区の花のデザインマークは区制70周年を記念して、公募により制定されました。



人と人の輪を円で表現。杉田の梅林と円海山をイメージして、海と山そして地球を表現しています。



2つのコスモスがやさしげに語りあっているようなイメージで描いています。

磯子区マスコットキャラクター「いそっぴ」（平成23年4月制定）



磯子まつりのマスコットキャラクターとしてデザインされ、平成23年4月に磯子区のマスコットキャラクターになりました。磯子の英文字「I・S・O・G・O」をモチーフに、頭には「区の木」である「梅」を飾っています。※「区の花」であるコスモスを頭に飾っているバージョンもあります。

磯子区地域福祉保健計画の案内役「梅さん」（平成18年4月制定）



梅さんは、平成18年度に策定された「磯子区地域福祉保健計画（愛称：スイッチON磯子）」（詳しくはP.36）の案内役として生まれたキャラクターです。令和3年度からは第4期磯子区地域福祉保健計画が始まります。

「スイッチON磯子」をより多くの区民の皆さんに知っていただけるよう日々奮闘しています。



I	磯子区の概要	
	・地勢	1
	・磯子区の主なデータ	2
	・町別の面積・世帯数・人口のデータ	3
	・人口	5
	・産業	14
	1. 第一次産業	15
	2. 第二次産業	16
	3. 第三次産業	17
	コラム1◆磯子区 いま、むかし	18
II	区民の生活	
	・生活環境	19
	1. 自治会・町内会	19
	コラム2◆自治会町内会の加入のご案内	20
	コラム3◆商店街について	21
	2. 安全・安心	22
	コラム4◆磯子区 安全・安心メール (isogo-safety)	22
	3. 火災救急	23
	コラム5◆消防団加入のご案内	24
	4. 地域防災・自助共助	24
	コラム6◆「自助」・「共助」こそが力です	24
	コラム7◆考えよう！災害時のペット対策	27
	5. 土地利用	28
	6. 区民利用施設	29
	7. 公園・道路	30
	8. 鉄道・交通	32
	9. ごみと資源物	33
	コラム8◆減らそう！プラスチックごみ	33
	コラム9◆減らそう！食品ロス	34
	・福祉・保健	35
	コラム10◆第3期磯子区地域福祉保健計画「スイッチ ON 磯子」	36
	1. 子育て	37
	コラム11◆地域子育て支援拠点以外の身近な「親と子のつどいの広場」	37
	コラム12◆子どもたちの放課後の居場所	40
	2. 高齢者	40
	コラム13◆あなたも認知症サポーターになりませんか！	41
	3. 障害者	42
	4. 生活保護	43
	・保険・年金	44
	・税金	45
III	お役立ち情報	
	・磯子区の予算（令和2年度一般会計予算）	47
	・選挙	48
	・磯子区の歴史年表	50
	コラム14◆各種統計調査の紹介	裏表紙

ご利用にあたって

- ・数値の単位未満は四捨五入を原則としています。このため、統計の数字と内訳の計及び表・グラフの割合の計が一致しない場合があります。
- ・表、グラフ中の符号は次のとおりです。
「0」…ゼロ又は単位未満
「-」…皆無又はデータなし

「▲」…マイナス（-）

「X」…数値が小さいため、秘密の保護を目的に非表示としています。（秘匿）

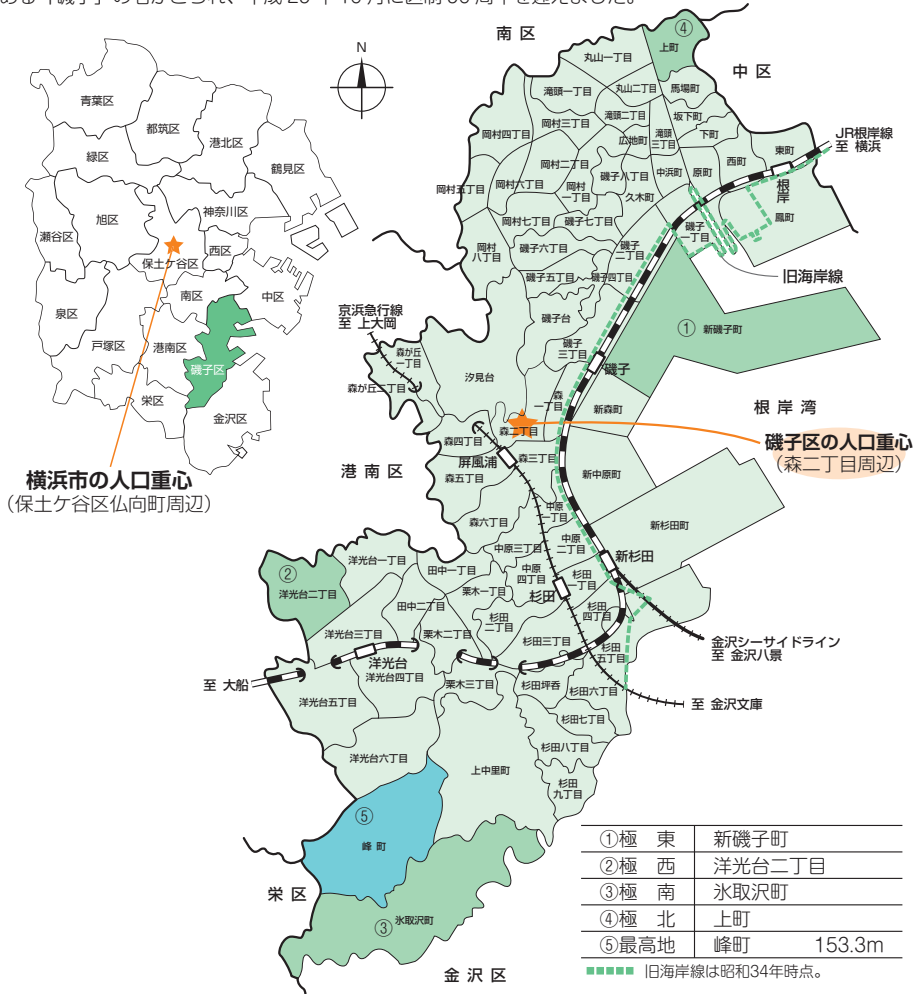
- ・本書に掲載した統計資料について更に詳細な数値等が必要な場合は、裏表紙に記載されております磯子区総務課統計選挙係にお問い合わせください。

磯子区の概要

地 勢

磯子区は市の南東部に位置し、根岸湾に面した平地とそれを囲むように広がる丘陵地、その境にある斜面緑地からなっています。

昭和2年10月に、横浜市の区制施行により誕生した横浜市で最も古い区の一つで、区名は地域の中心である「磯子」の名がとられ、平成29年10月に区制90周年を迎えました。



戦前は別荘地や海水浴場として有名で、海苔の養殖でも知られていました。昭和34年頃から始まった根岸湾の埋立により京浜工業地帯の一翼を担う重化学工業地帯がつけられました。これに伴い、汐見台や洋光台等で大規模団地開発がすすみ、更に根岸線の延伸によりベッドタウンとして人口が急増しました。

現在でも海づり施設やヨットハーバーなどで海が楽しめ、区南部には市内でも有数の大規模な緑地が広がり自然に接することができるなど、魅力あるまちであり続けています。

磯子区の主なデータ

	単位	磯子区	横浜市	基準日	順位	
面積	km ²	19.02	435.5	R2.4.1	14位	
人口	[推計人口] 人	166,471	3,753,771	R2.4.1	13位	
世帯数	[推計人口] 世帯	77,419	1,723,409	R2.4.1	14位	
1世帯あたり人員	[推計人口] 人	2.15	2.18	R2.4.1	11位	
人口密度	[推計人口] 人/km ²	8,752	8,619	R2.4.1	9位	
外国人人口	[登録人口] 人	5,172	105,287	R2.3.31	8位	
高齢者(65歳以上)人口	[登録人口] 人	45,994	920,962	R2.3.31	11位	
高齢化率	[登録人口] %	27.4	24.5	R2.3.31	7位	
昼夜間人口比率	%	83.2	91.7	H27.10.1	11位	
合計特殊出生率(※1)	人	1.40	1.32	H30	4位	
産業	第一次産業従業者数	人	25	1,403	H28.6.1	14位
	第二次産業従業者数	人	11,978	220,836	H28.6.1	8位
	第三次産業従業者数	人	36,264	1,253,735	H28.6.1	15位
刑法犯認知件数	件	557	16,129	R元年	17位	
ごみと資源の総排出量削減率(対29年度比)	%	▲1.6	▲1.2	R元年	6位	
自治会町内会加入率	%	73.7	72.4	H31.4.1	10位	
保育所待機児童数	人	2	27	R2.4.1	3位	
生活保護 保護率	%	1.77	1.84	R2.3.31	8位	
投票率(H31年統一地方選挙[市議会議員])(※2)	%	43.0	42.5	H31.4.7	9位	
投票率(R元年参議院議員通常選挙[選挙区])	%	49.5	49.7	R1.7.21	10位	

順位は横浜市内の18区のうち、数値の大きいものから順に並べた際の順位です。

{ 推計人口……直近の国勢調査結果を基に人口増加数を加減して算出した人口統計です。毎月1日現在の人口を推計しています。
登録人口……住民基本台帳に記載された人口を集計した人口統計です。毎月月末現在の人口で集計しています。}

(※1) 1人の女性が一生に産む子どもの平均数です。

(※2) 神奈川区は無投票だったため、17区の中での順位となります。

町別の面積・世帯数・人口のデータ

町名	面積 (ハクタール)	世帯数	人口			人口密度 (1kmあたり)	高齢者 人口 (65歳以上)	高齢者 人口 (75歳以上)	高齢化率
			男(人)	女(人)	総数(人)				
東町	15.9	1,331	1,207	1,394	2,601	16,358.5	684	306	26.3%
西町	14.8	1,448	1,367	1,507	2,874	19,418.9	628	329	21.9%
鳳町	57.5	0	0	0	0	0	0	0	-
原町	15.4	755	687	670	1,357	8,811.7	336	173	24.8%
下町	9.4	652	545	573	1,118	11,893.6	328	188	29.3%
坂下町	9.4	638	669	647	1,316	14,000.0	286	133	21.7%
馬場町	11.6	642	616	594	1,210	10,431.0	386	210	31.9%
上町	18.6	628	617	644	1,261	6,779.6	329	160	26.1%
丸山一丁目	22.4	2,075	2,254	2,198	4,452	19,875.0	1,056	459	23.7%
丸山二丁目	10.9	827	800	768	1,568	14,385.3	467	220	29.8%
滝頭一丁目	18.7	1,220	1,307	1,220	2,527	13,513.4	592	283	23.4%
滝頭二丁目	9.1	697	700	708	1,408	15,472.5	404	253	28.7%
滝頭三丁目	11.2	688	565	663	1,228	10,964.3	419	232	34.1%
中浜町	9.6	713	687	636	1,323	13,781.3	365	185	27.6%
岡村一丁目	18.5	1,045	1,107	1,087	2,194	11,859.5	670	342	30.5%
岡村二丁目	17.9	453	483	527	1,010	5,642.5	295	143	29.2%
岡村三丁目	15.3	1,295	1,362	1,359	2,721	17,784.3	768	405	28.2%
岡村四丁目	27.0	1,395	1,541	1,548	3,089	11,440.7	765	418	24.8%
岡村五丁目	12.3	928	879	964	1,843	14,983.7	602	326	32.7%
岡村六丁目	11.7	512	571	579	1,150	9,829.1	341	169	29.7%
岡村七丁目	17.0	851	937	1,010	1,947	11,452.9	610	325	31.3%
岡村八丁目	22.2	970	1,049	1,176	2,225	10,022.5	606	325	27.2%
広地町	☆6.5	606	556	595	1,151	17,707.7	383	198	33.3%
久木町	14.5	1,302	1,282	1,237	2,519	17,372.4	603	312	23.9%
磯子一丁目	15.4	X	X	X	X	X	X	X	X
磯子二丁目	25.9	2,367	2,300	2,237	4,537	17,517.4	1,035	511	22.8%
磯子三丁目	25.5	2,780	2,518	2,626	5,144	20,172.5	1,283	647	24.9%
磯子四丁目	8.9	403	383	423	806	9,056.2	251	116	31.1%
磯子五丁目	13.2	587	640	702	1,342	10,166.7	479	195	35.7%
磯子六丁目	18.1	1,024	1,161	1,246	2,407	13,298.3	665	333	27.6%
磯子七丁目	15.2	719	802	861	1,663	10,940.8	447	200	26.9%
磯子八丁目	8.0	532	588	623	1,211	15,137.5	300	151	24.8%
磯子台	20.7	1,355	1,585	1,753	3,338	16,125.6	676	337	20.3%
新磯子町	★135.9	X	X	X	X	X	X	X	X
汐見台1丁目	70.4	975	1,110	1,032	2,142	12,234.4	430	224	20.1%
汐見台2丁目		1,590	2,095	1,923	4,018		479	250	☆11.9%
汐見台3丁目		1,098	1,234	1,219	2,453		595	323	24.3%
森一丁目	14.5	3,011	2,503	3,038	5,541	★38,213.8	1,941	1,068	35.0%

町名	面積 (ハクタール)	世帯数	人口			人口密度 (1kmあたり)	高齢者 人口 (65歳以上)	高齢者 人口 (75歳以上)	高齢化率
			男(人)	女(人)	総数(人)				
森二丁目	21.6	1,149	1,042	1,055	2,097	9,708.3	456	227	21.7%
森三丁目	17.7	1,530	1,340	1,373	2,713	15,327.7	835	417	30.8%
森四丁目	16.3	990	1,138	1,124	2,262	13,877.3	411	189	18.2%
森五丁目	26.8	907	851	904	1,755	6,548.5	470	232	26.8%
森六丁目	23.9	1,593	1,740	1,833	3,573	14,949.8	714	385	20.0%
森が丘一丁目	12.1	708	753	770	1,523	12,586.8	420	241	27.6%
森が丘二丁目	15.3	836	850	953	1,803	11,784.3	539	303	29.9%
新森町	21.7	0	0	0	0	0	0	0	-
中原一丁目	9.8	1,254	993	978	1,971	20,112.2	590	298	29.9%
中原二丁目	13.3	1,129	975	902	1,877	14,112.8	508	291	27.1%
中原三丁目	14.5	1,016	1,089	1,083	2,172	14,979.3	558	289	25.7%
中原四丁目	16.2	1,240	1,263	1,245	2,508	15,481.5	573	298	22.8%
新中原町	43.7	0	0	0	0	0	0	0	-
杉田一丁目	11.7	887	816	868	1,684	14,393.2	460	237	27.3%
杉田二丁目	12.6	1,135	1,166	1,245	2,411	19,134.9	733	334	30.4%
杉田三丁目	31.5	1,838	1,840	1,794	3,634	11,536.5	984	475	27.1%
杉田四丁目	12.7	1,371	1,290	1,123	2,413	19,000.0	519	270	21.5%
杉田五丁目	44.0	1,465	1,444	1,431	2,875	6,534.1	768	384	26.7%
杉田六丁目	17.9	1,080	1,216	1,171	2,387	13,335.2	593	289	24.8%
杉田七丁目	14.5	883	884	956	1,840	12,689.7	780	447	★42.4%
杉田八丁目	21.8	1,144	1,253	1,323	2,576	11,816.5	845	558	32.8%
杉田九丁目	13.6	605	821	858	1,679	12,345.6	326	173	19.4%
杉田坪香	14.0	659	772	805	1,577	11,264.3	466	152	29.5%
新杉田町	102.0	424	389	405	794	778.4	148	78	18.6%
栗木一丁目	15.9	913	1,012	1,004	2,016	12,679.2	552	310	27.4%
栗木二丁目	19.3	883	971	964	1,935	10,025.9	528	208	27.3%
栗木三丁目	16.9	920	1,055	1,050	2,105	12,455.6	536	292	25.5%
田中一丁目	14.5	721	856	867	1,723	11,882.8	368	181	21.4%
田中二丁目	16.0	976	1,100	1,060	2,160	13,500.0	427	231	19.8%
上中里町	95.9	1,953	1,934	2,032	3,966	4,135.6	1,437	741	36.2%
氷取沢町	115.3	1,380	1,433	1,524	2,957	2,564.6	1,186	491	40.1%
峰町	80.7	☆168	☆202	☆186	☆388	☆480.8	☆122	☆68	31.4%
洋光台一丁目	25.5	1,118	1,214	1,271	2,485	9,745.1	535	329	21.5%
洋光台二丁目	31.9	2,132	1,828	2,040	3,868	12,125.4	1,527	933	39.5%
洋光台三丁目	33.3	2,187	2,014	2,090	4,104	12,324.3	1,200	689	29.2%
洋光台四丁目	34.9	1,873	1,764	1,875	3,639	10,426.9	1,255	798	34.5%
洋光台五丁目	40.5	★3,103	★2,796	★3,204	★6,000	14,814.8	★2,278	★1,330	38.0%
洋光台六丁目	43.1	1,744	1,890	1,907	3,797	8,809.7	833	457	21.9%
合計	1,902.0	82,053	82,720	85,275	167,955	8,830.4	45,994	24,080	27.4%

※「X」は数値が小さいため、秘密の保護を目的に非表示としています。(秘匿)

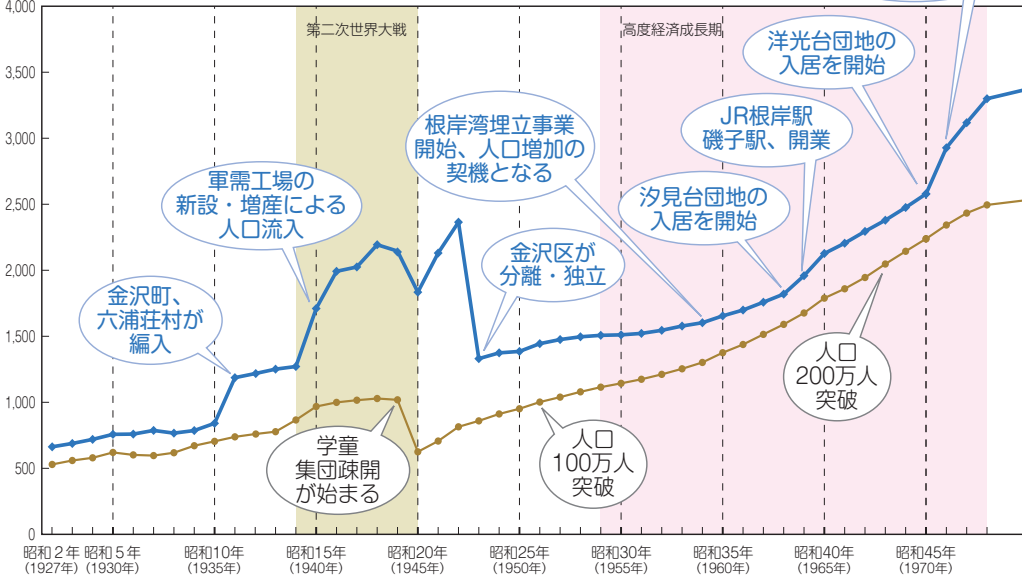
※★は各項目の最大値、☆は各項目の最小値です。(0及び秘匿は除く)

出典：登録人口(令和2年3月31日現在)

◆横浜市と磯子区の人口の推移

〔横浜市〕

(千人)



ニユーヨーク株式大暴落、世界恐慌始まる(昭和4年)
区制施行により鶴見区・神奈川区・中区・
保土ヶ谷区・磯子区が誕生(昭和2年)

磯子区制10周年(昭和12年)

港北区・戸塚区が誕生(昭和14年)

横浜大空襲(昭和20年)
西区誕生(昭和19年)
南区誕生(昭和18年)

磯子区の一部が分区し、金沢区が誕生(昭和23年)
磯子区制20周年(昭和22年)

テレビ放送開始(昭和28年)

横浜開港100周年(昭和33年)
磯子区制30周年(昭和32年)
磯子消防署・磯子公会堂新築落成(昭和32年)

マリントワー完成(昭和36年)

東京オリンピック開催(昭和39年)

磯子区制40周年(昭和42年)

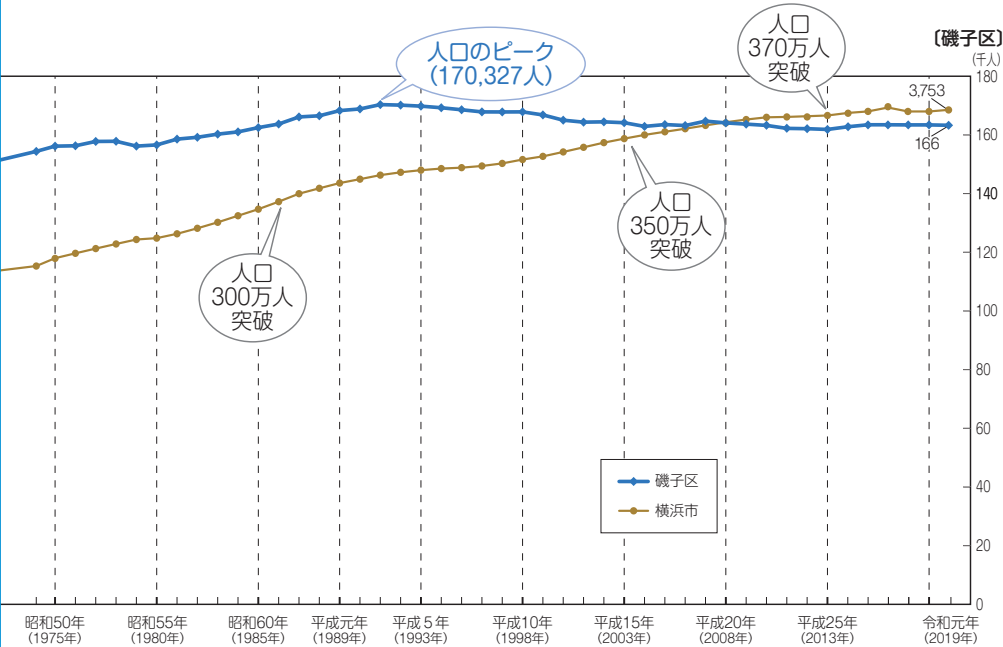
港南区・旭区・緑区・瀬谷区が誕生(昭和44年)

JR根岸線が全線開通、
石油危機(洗剤・トイレトペーパー不足が深刻化)
(昭和48年)

※昭和2～9年は公簿調査による戸籍人口、昭和10年以降は国勢調査及び推計人口調査によります。
ただし、昭和5年は国勢調査、昭和16、23年は常住人口調査、昭和19～21年は人口調査によります。

【磯子区】

(千人)



ラグビーワールドカップ 2019 日本大会開催(令和元年) 決勝戦は横浜で
 磯子区制90周年(平成29年)
 市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」初開催(平成27年3月)

東日本大震災(平成23年3月11日)
 横浜開港150周年(平成21年)
 磯子区制80周年(平成19年)

みなとみらい線開通(平成16年)
 2002 FIFAワールドカップ 韓国・日本開催(平成14年) 決勝戦は横浜で
 磯子区新総合庁舎が完成(平成11年)
 横浜国際総合競技場オープン(平成10年)
 磯子区制70周年(平成9年)

青葉区・都筑区が誕生(平成6年)
 横浜ランドマークタワーオープン(平成5年)

金沢シーサイドライン開通、横浜ベイブリッジ開通(平成元年)
 磯子区制60周年(昭和62年)
 栄区・泉区が誕生(昭和61年)

横浜スタジアム完成、大通り公園開園(昭和53年)
 磯子区制50周年(昭和52年)

※各年10月1日現在。ただし、昭和2～4年、6～9年は12月31日現在、昭和18年は12月1日現在、昭和19年は2月22日現在、昭和20年は11月1日現在、昭和21年は4月26日現在、昭和23年は8月1日現在。

◆年齢三区分別人口の推移 ～少子高齢化がさらに進行～

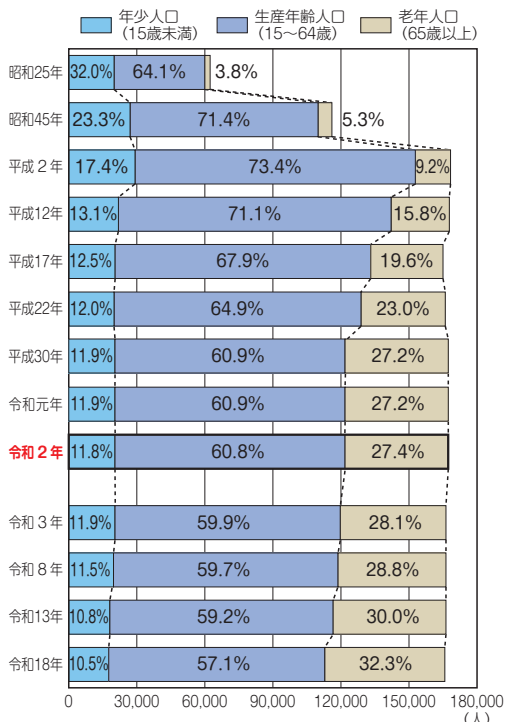
年少人口（15歳未満）の割合は低下傾向で推移し、平成2年には総人口に占める割合が20%を下回りました。平成17年から12%前後で推移していますが、少子化が進行している状況といえます。

一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加傾向で推移しています。令和2年には区民の約3.7人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

現在27.4%となっている磯子区の老年人口の割合は、令和13年には約30%、令和18年には約32%となる見込みだよ。

横浜市将来人口推計

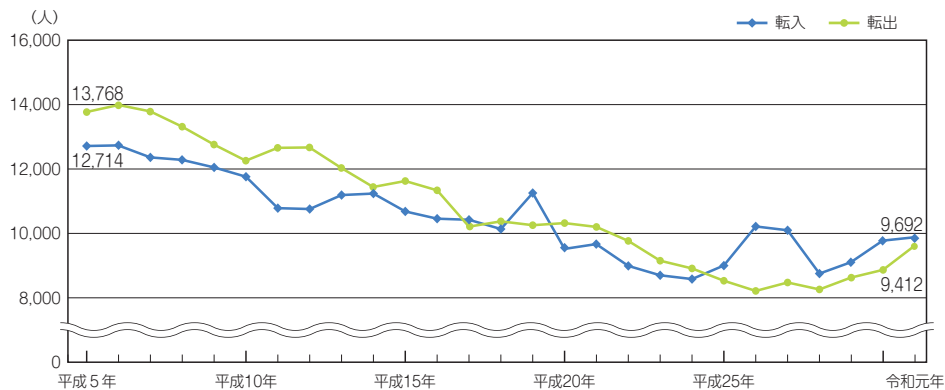
検索



出典：各年国勢調査、平成30年以降は登録人口（各年3月31日現在）
※年齢不詳は除く

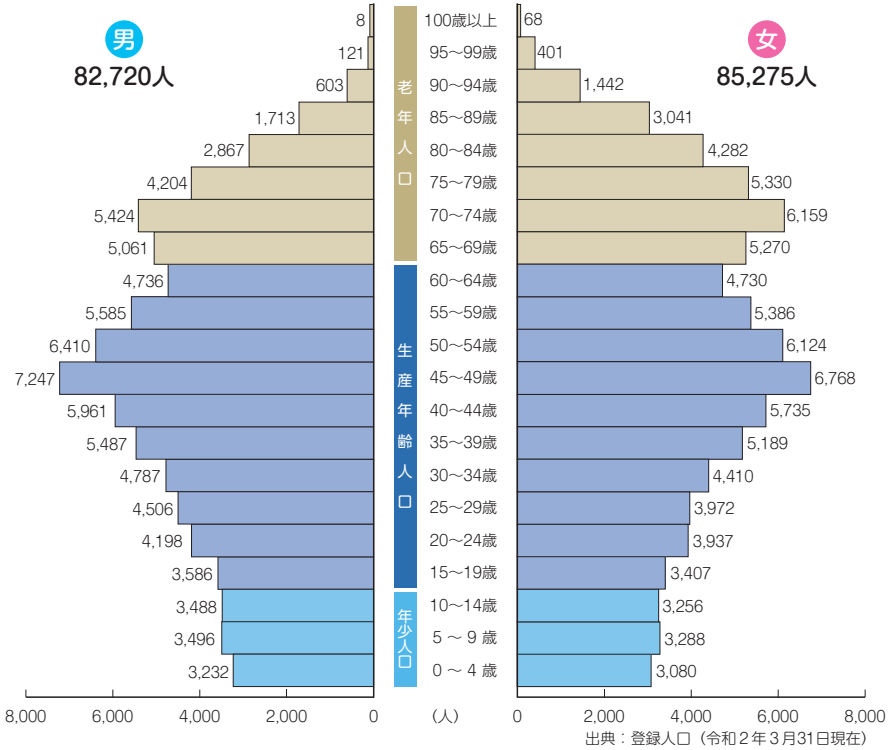
◆人口異動の推移(磯子区)

〈転入・転出の推移〉～転入・転出ともに増加傾向～

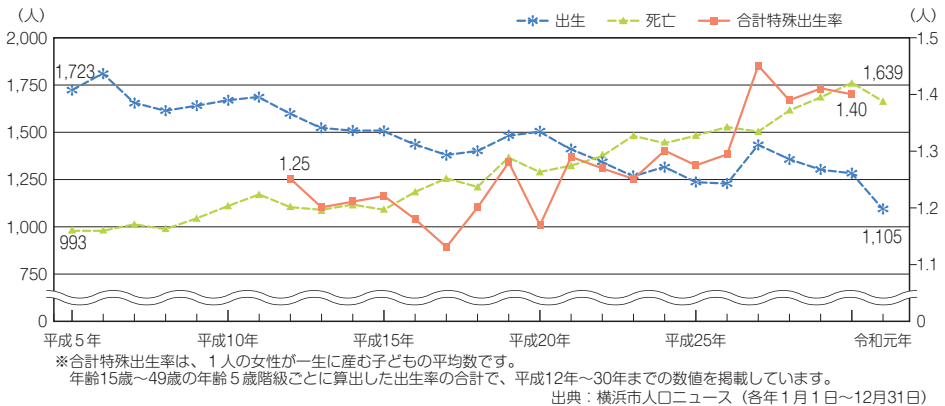


出典：横浜市人口ニュース（各年1月1日～12月31日）

◆人口ピラミッド(磯子区)

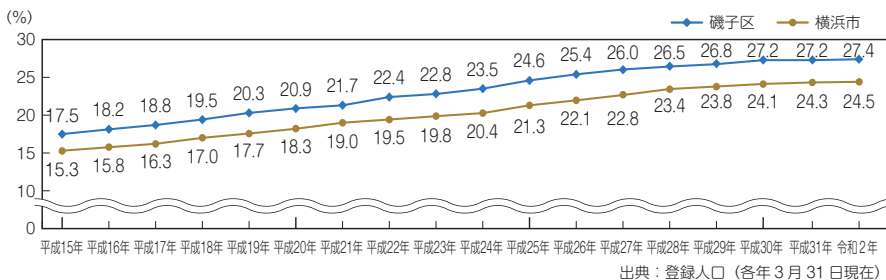


〈出生・死亡の推移〉～出生者数は減少傾向～

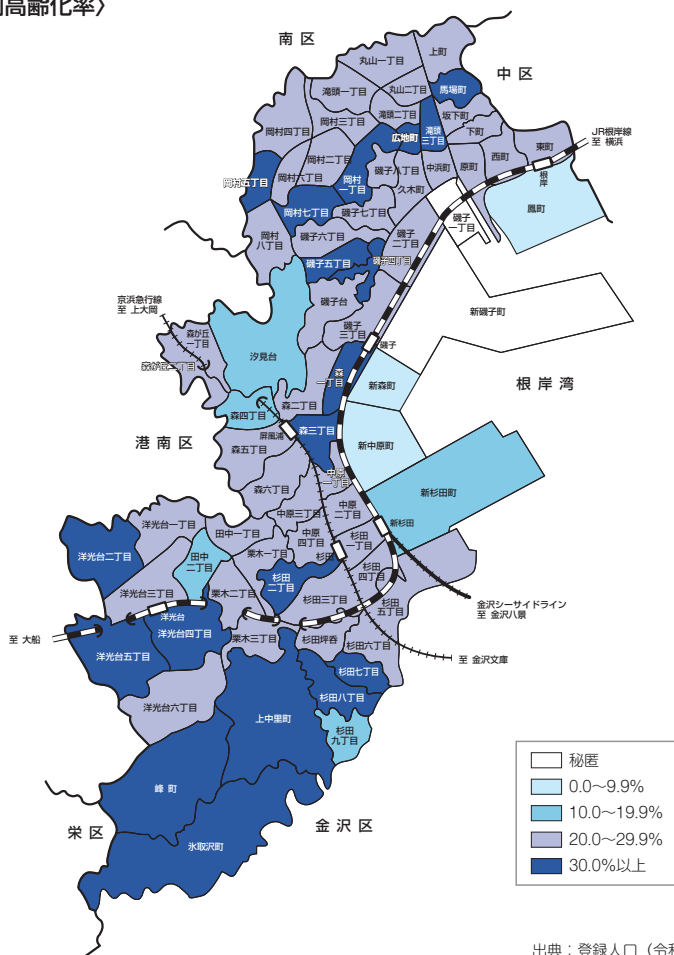


◆高齢者（65歳以上）

〈高齢化率の推移〉

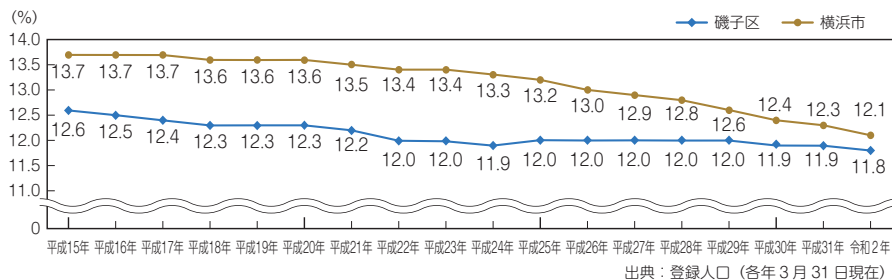


〈町別高齢化率〉

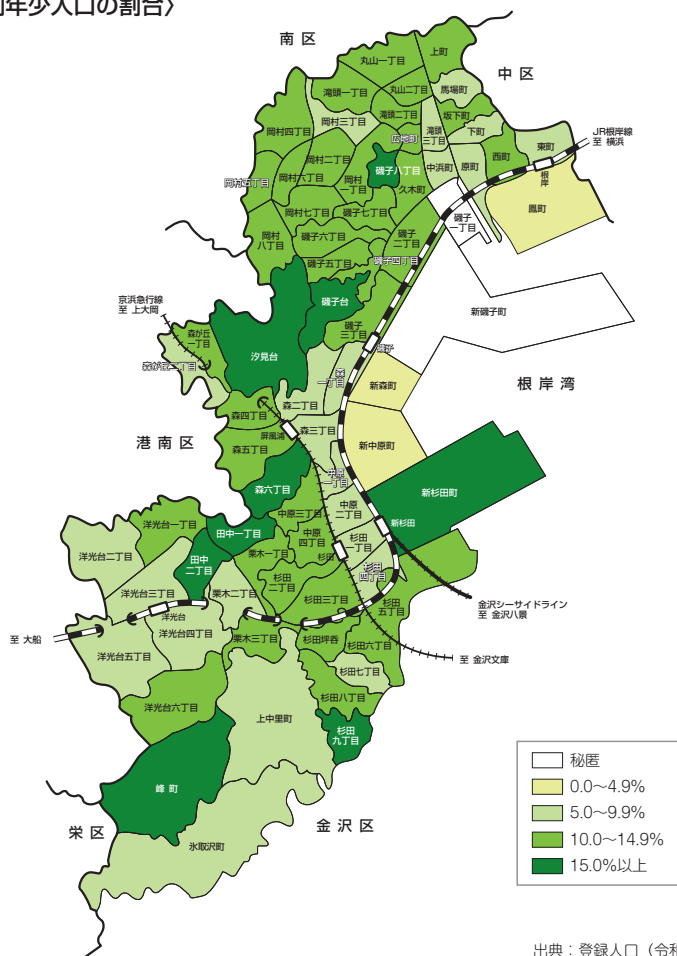


◆年少人口（15歳未満）

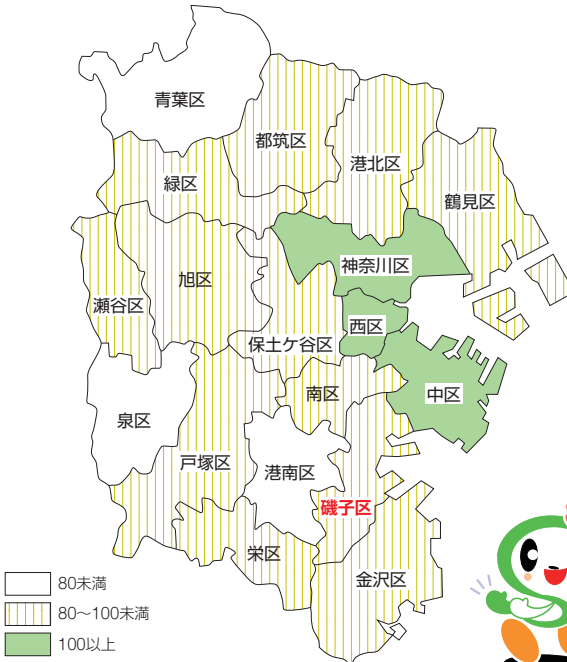
〈年少人口の割合の推移〉



〈町別年少人口の割合〉



◆ 区別昼夜間人口比率



昼夜間人口比率とは、常住人口（夜間人口）に対する昼間人口の割合です。100を超えると通勤・通学等の流入が多く、その地域に昼間、人が集まっていることを示します。磯子区は、前回調査（平成22年）と比べて0.5ポイント減少しましたが、市全体では0.2ポイント上昇しました。

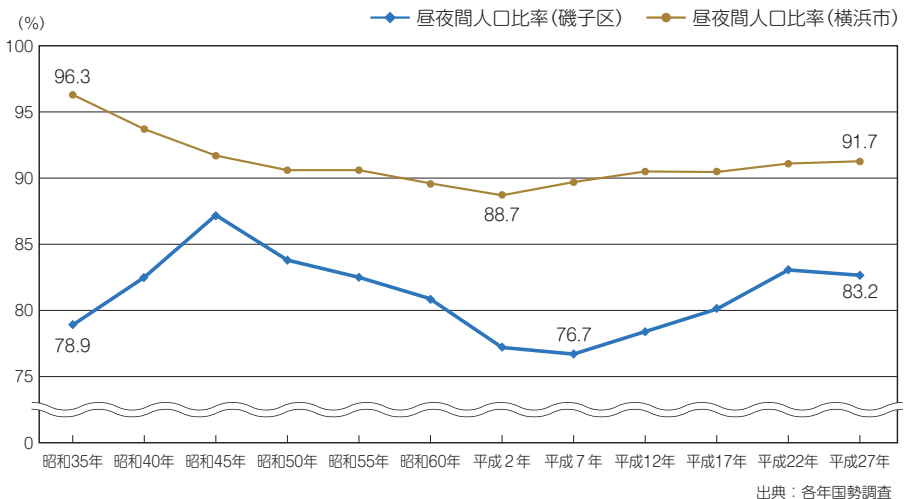
参考：西区 186.0%(全国14位)
中区 161.2%(全国23位)

磯子区の
昼夜間人口比率は83.2%で
横浜市内では
18区中、11番目だよ。
(平成27年10月1日現在)

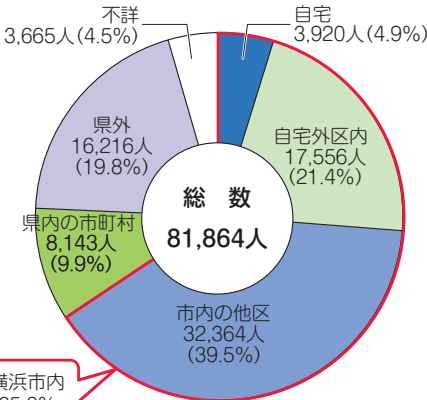


出典：平成27年国勢調査

◆ 昼夜間人口比率の推移 ～磯子区は前回と比べて0.5ポイント減少～



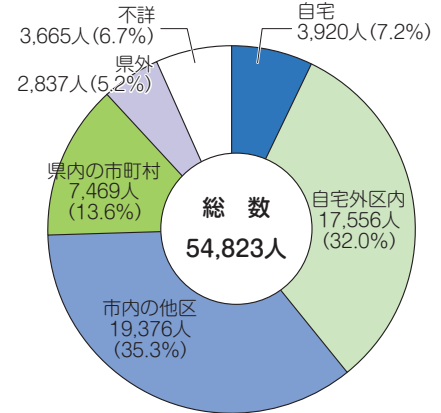
◆磯子区民の通勤・通学先 (15歳以上)



横浜市内
65.8%

出典：平成27年国勢調査

◆磯子区へ通勤・通学する人の住所 (15歳以上)



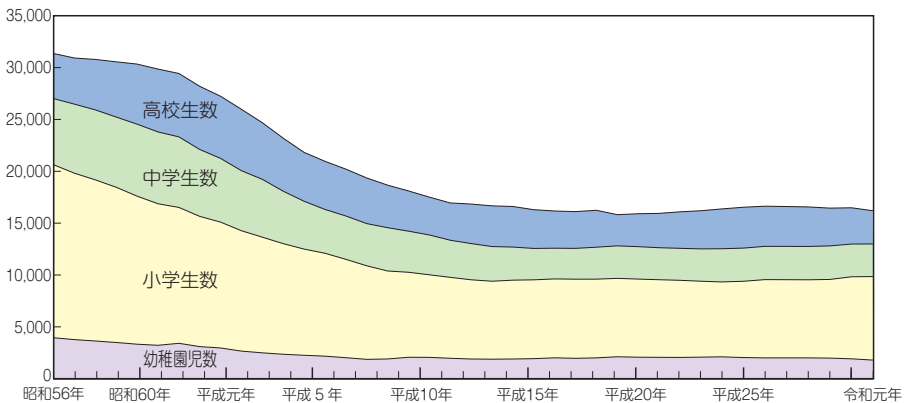
出典：平成27年国勢調査



横浜市内に通勤・通学する人の割合は、
65.8%(全市56.6%)で市内で1番多い区なんだよ。
(平成27年10月1日現在)

◆幼稚園児・児童・生徒数の推移 (磯子区)

令和元年は幼稚園児 1,798 人、小学生 7,843 人、中学生 3,205 人、高校生 3,168 人、合計 16,014 人となっており、ピーク時(昭和 56 年、合計 31,357 人)と比べてほぼ半減しており、明らかな少子化傾向が見られます。

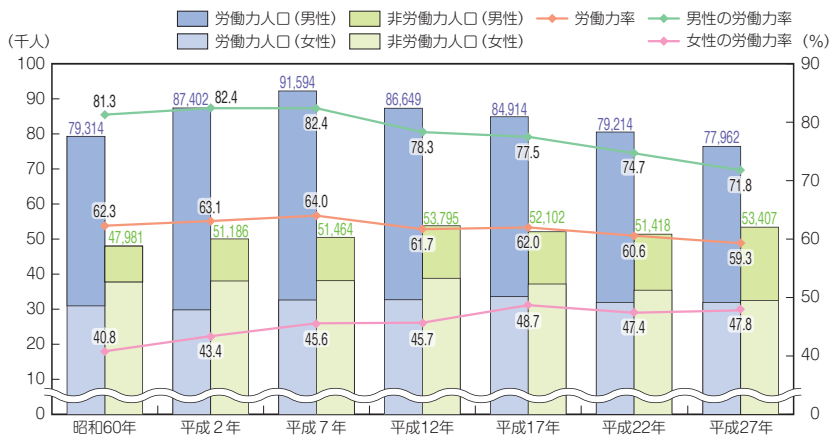


出典：学校基本調査(各年5月1日現在)

◆労働力人口 ～磯子区は引き続き減少傾向に～

労働力人口とは、満15歳以上の人口のうち、就業者と完全失業者（就業していないが、就職活動をしている失業者）の合計のことをいい、また、満15歳以上の人口に対する労働力人口の割合を労働力率といいます。

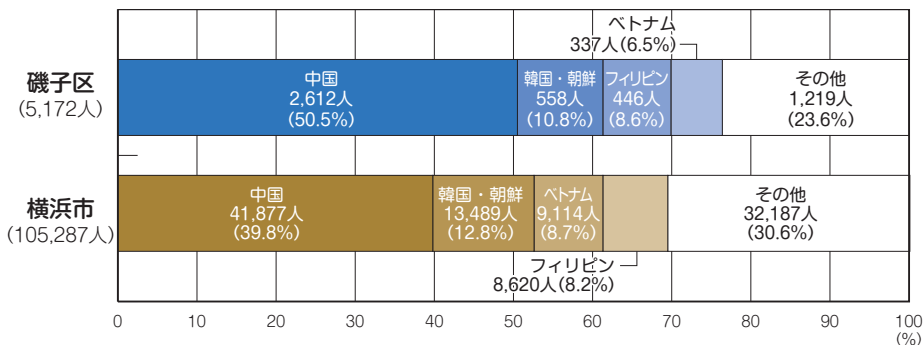
磯子区では平成7年から減少傾向にあるものの、女性の労働力率は全体的に増加傾向にあります。



出典：各年国勢調査

各種内訳	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
労働力人口（男性）	53,339人	57,591人	58,972人	53,921人	51,303人	47,266人	45,441人
労働力人口（女性）	25,975人	29,811人	32,622人	32,728人	33,611人	31,948人	32,521人
非労働力人口（男性）	10,241人	12,266人	12,593人	14,977人	14,900人	15,981人	17,874人
非労働力人口（女性）	37,740人	38,920人	38,871人	38,818人	37,202人	35,437人	35,533人

◆外国人人口 ～アジア諸国が大半を占める～

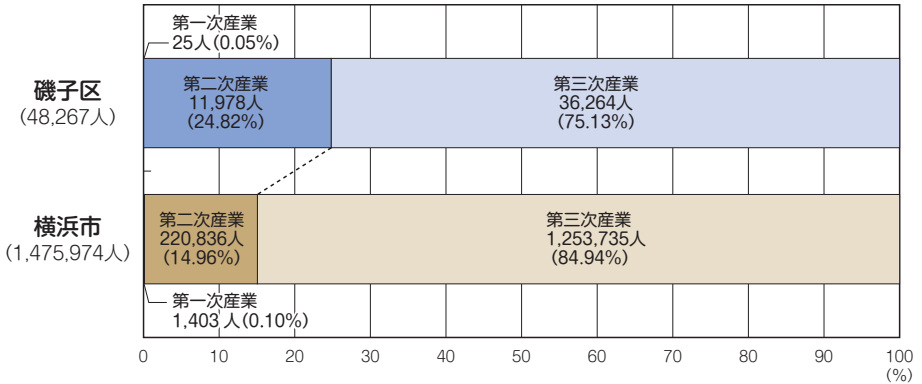


出典：外国人人口（令和2年3月31日現在）

産 業

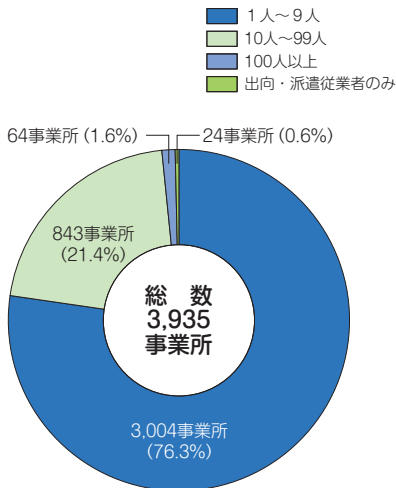
◆産業別従業者の比率 ～第二次産業従事者割合の高い磯子区～

磯子区の沿岸部には工業地域が広がっているため、市全域と比べると第二次産業へ従事する人の割合が高くなっています。



出典：平成28年経済センサス活動調査

◆従業者規模別事業所比率（磯子区）



出典：平成28年経済センサス活動調査

「第一次産業」

自然の恩恵を利用して収入を得る産業で、農業、牧畜、林業、水産業、狩猟業のこと。

「第二次産業」

製造業、建設業などの工業生産、また、第一次産業の生産品を材料にした加工業や地下資源を採取する鉱工業などのこと。

「第三次産業」

第一次産業や第二次産業に含まれない全業種のこと。情報通信業、金融業、運輸業、小売業、飲食店なども含めたサービス業・塾などの教育、公益事業などが含まれる。

1. 第一次産業 ～規模は小さくても健在～

農業〈区別農家数と耕地面積〉

(戸)

(a)

区名	総農家数	販売農家	自給的農家		経営耕地面積 (販売農家)				
			うち専業	うち兼業	合計	田	畑	樹園地	
鶴見区	44	19	7	12	25	971	-	839	132
神奈川区	159	128	78	50	31	12,832	167	11,344	1,321
西区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中区	1	-	-	-	1	X	X	X	X
南区	5	4	1	3	1	X	X	X	X
港南区	77	40	16	24	37	2,484	178	1,808	498
保土ヶ谷区	118	84	39	45	34	6,770	23	6,144	603
旭区	312	146	54	92	166	11,589	197	9,265	2,127
磯子区	25	14	6	8	11	603	-	565	38
金沢区	65	21	2	19	44	931	-	771	160
港北区	360	216	114	102	144	15,390	558	12,415	2,417
緑区	365	229	102	127	136	19,052	3,156	11,877	4,019
青葉区	431	196	76	120	235	14,836	3,690	8,276	2,870
都筑区	479	275	124	151	204	19,281	793	15,812	2,676
戸塚区	314	188	84	104	126	17,458	1,328	13,612	2,518
栄区	119	51	27	24	68	3,181	401	2,384	396
泉区	375	263	123	140	112	27,213	1,719	20,804	4,690
瀬谷区	202	155	65	90	47	16,371	598	13,098	2,675
横浜市合計	3,451	2,029	918	1,111	1,422	169,094	12,808	129,121	27,165

※ 「X」は数値が小さいため、秘密の保護を目的に非表示としています (秘匿)

出典：2015年農林業センサス

磯子区の経営耕地面積は
横浜スタジアム (35,400m²) の約1.7個分だよ!



漁業〈地区別漁業経営体数、海上作業従事者数の推移〉

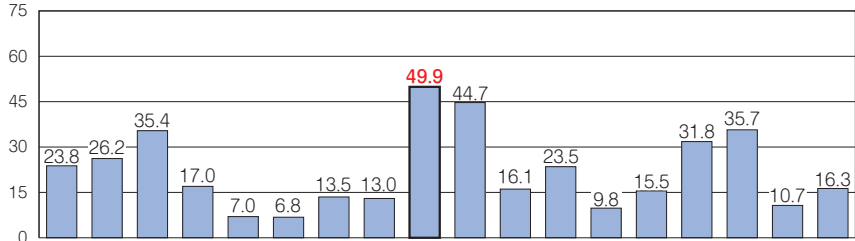
漁業地区	平成 15 年		平成 20 年		平成 25 年		平成 30 年	
	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)
鶴見	17	41	14	42	12	32	11	15
神奈川	43	61	30	60	24	54	24	38
西・中	18	34	18	19	22	28	20	21
磯子	6	6	6	6	9	10	7	7
金沢	110	202	106	186	100	179	93	153
計	194	344	174	313	167	303	155	234

出典：各年漁業センサス

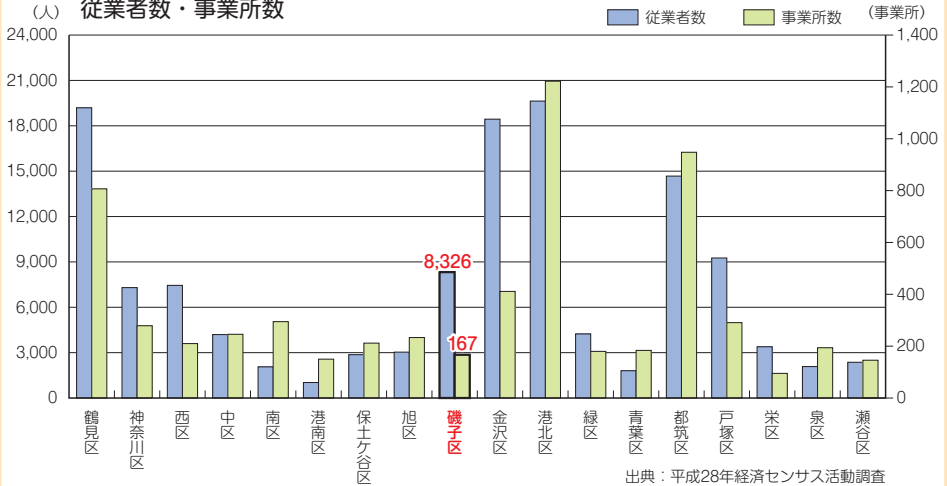
2. 第二次産業

〈区別従業者数・事業所数（製造業）〉～1事業所あたりの平均従業者数は18区で1番！

(人) 1事業所あたりの平均従業者数



(人) 従業者数・事業所数



〈区別製造品出荷額等〉～製造品出荷額等・1事業所あたりの製造品出荷額は横浜市 No.1!!～

順位	区名	製造品出荷額等 (億円)
1	磯子区	12,705
2	鶴見区	6,410
3	金沢区	5,015

順位	区名	1事業所あたりの 製造品出荷額 (百万円)
1	磯子区	17,404
2	栄区	6,727
3	神奈川区	3,239

※従業員4人以上の事業所

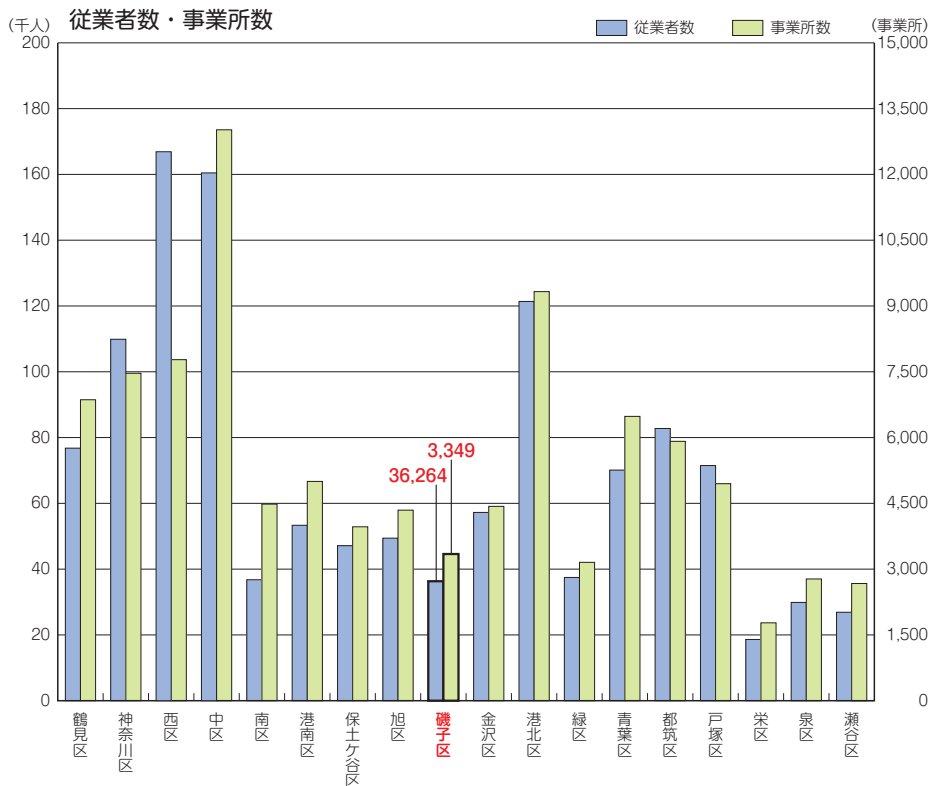
出典：平成30年工業統計調査

製造品出荷額等・
1事業所あたりの製造品出荷額
ともに横浜市No.1だよ！
市内でも工業が
盛んな区なんだね！



3. 第三次産業

〈区別従業者数・事業所数〉 ～従業者数は18区中15位、事業所数は18区中14位～



〈業種別従業者数と事業所数（磯子区）〉

業種名	平成24年	平成28年
卸売業、小売業	従業者数	8,043
	事業所数	913
宿泊業、飲食サービス業	従業者数	3,736
	事業所数	547
不動産業、物品賃貸業	従業者数	1,267
	事業所数	414
医療、福祉	従業者数	6,223
	事業所数	412
その他	従業者数	16,570
	事業所数	1,220
合計	従業者数	35,839
	事業所数	3,506

出典：各年経済センサス活動調査

経済センサス

活動調査

令和3年に「**経済センサス-活動調査**」を実施します。事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにする重要な調査です。

調査へのご理解と、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

磯子区 いま、むかし

埋立てにより、大きく変わってきた磯子

明治 22 (1889) 年の市制施行までの磯子区は、久良岐郡の根岸村、屏風浦村、日下村という3つの村からなる交通が不便ながら風光明媚な農村、漁村でした。

昭和 34 (1959) 年頃からの根岸湾の埋立てにより、かつての景勝地だった湾内に石油精製、造船、機械などの企業が進出し、京浜工業地帯の一翼を担う地区になりました。

昭和 39 (1964) 年から昭和 48 (1973) 年には、国鉄（現 JR）根岸線が大船駅まで延伸され、工業地帯の従業員の住まいを確保するために沿線の宅地造成は加速しました。磯子区の人口は昭和 35 (1960) 年の 74,458 人から昭和 50 (1975) 年には 156,165 人と、およそ 2.1 倍に急増しました。

磯子区は関内・関外地区に隣接し、交通の便が良いことから、住宅都市であるとともに、工業都市でもあるなど多様性を持つ区へと発展してきました。

住宅地の、いま、むかし



※昭和 30 年頃



※令和 2 年度
浅間神社から、杉田湾を望む

工業地帯の、いま、むかし —根岸湾の埋立—



※昭和 35 年頃



※令和元年度
※根岸湾上空
写真提供：横浜市港湾局

磯子区の「いま」については、この統計白書に掲載されているデータやコラムをお読みいただけますと幸いです。

これからも、「地域の皆さまとともにつくる笑顔あふれるまち・いそご」の実現に向けて、区民の皆さまのご理解とご協力の程、引き続きよろしく申し上げます。

参考：「横浜市都市計画マスタープラン磯子区プラン 磯子区まちづくり方針」（平成 30年 3月）
「横浜の埋立」（平成 4年 3月）

【お問合せ】 磯子区総務課
電話 750-2316 FAX 750-2530

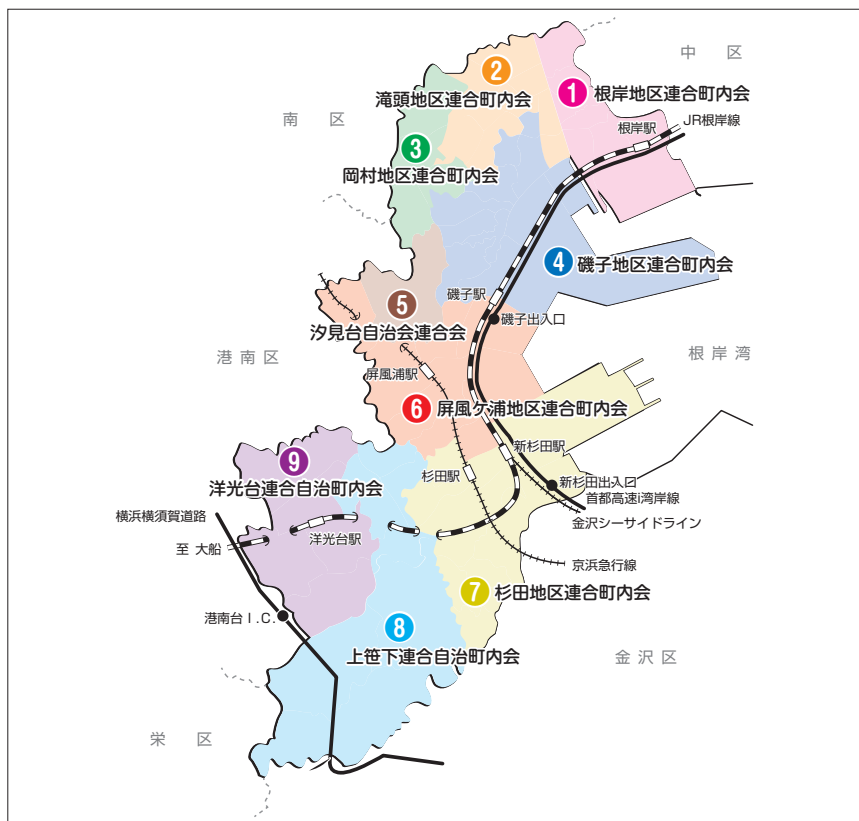
II

区民の生活

生活環境

1. 自治会・町内会

〈区内の連合町内会〉～ 168 の自治会町内会と 9 の地区連合町内会～



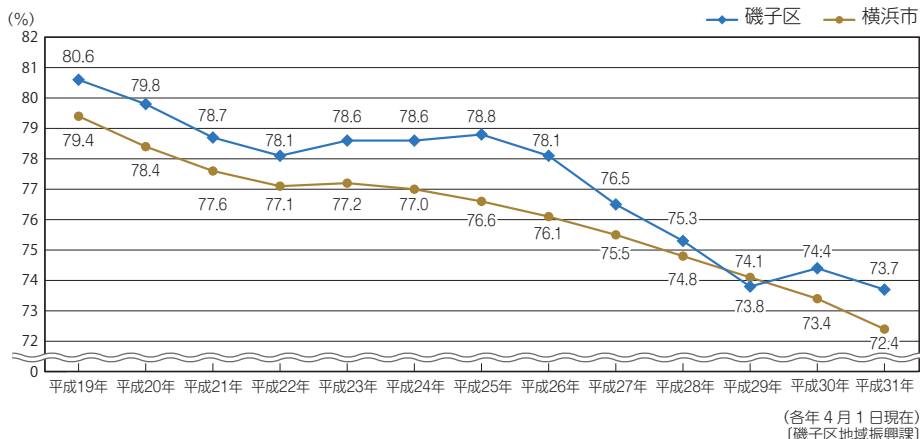
〈地区連合別自治会町内会数〉

	地区連合町内会	加入自治会町内会数	地区連合町内会	加入自治会町内会数	
①	根岸地区連合町内会	13	⑥	屏風ヶ浦地区連合町内会	21
②	滝頭地区連合町内会	12	⑦	杉田地区連合町内会	17
③	岡村地区連合町内会	7	⑧	上笹下連合自治町内会	12
④	磯子地区連合町内会	15	⑨	洋光台連合自治町内会	16
⑤	汐見台自治会連合会	45		連合町内会未加入	10
			計	168	

(令和2年8月1日現在)
(磯子区地域振興課)

〈自治会町内会加入率〉

磯子区の自治会町内会加入率は、ここ数年、やや下降傾向に推移しています。今後
もより一層の加入率向上が求められているところです。



コラム2

自治会町内会の加入のご案内

磯子区には 168 (令和 2年 8月現在) の自治会町内会があります。日頃から地域の方と交
流を深め、住みやすい地域づくりのためにも自治会町内会に加入しましょう。

例えばこのような活動をしています。

- **身近な情報をいち早く提供**：生活に密着した地域情報を回覧やポスターなどでお知らせす
るほか、行政の広報紙などを配布しています。
- **楽しい行事やイベントの開催**：盆踊りや運動会などのレクリエーションのほか、子ども会
活動の支援や社会福祉協議会などと協力して敬老会なども開いています。
- **地域の安全のための活動**：防犯パトロールや交通安全対策を行っています。また、夜道の
暗い場所に防犯灯を設置し、維持管理しています。
- **災害に強いまちづくり**：日頃から防災訓練を行い、災害発生時には避難所の運営や水・非
常食の備蓄管理や要援護者の支援活動などの防災・減災に備えています。
- **きれいなまちづくり**：公園の草取りや地域施設・ごみ集積所の清掃など
まちの美化を進めるとともに、資源物の集団回収などごみの軽減活動に
も関わっています。

磯子区の自治会町内会のホームページ、冊子や動画などで、各自治会町内会の
活動を紹介しています。是非、ホームページをご覧ください！

磯子 町内会

検 索

で検索！

[磯子区連合町内会会長ホームページ](#) をクリック！



【お問合せ】 磯子区連合町内会会長事務局 (磯子区地域振興課内)
電話 750-2391 FAX 750-2534

商店街について

磯子区商店街連合会加盟商店街は、15 商店街、357 店舗です。（令和元年 7 月現在）

商店街は身近なお買物の場であるとともに、イベントの開催や防犯パトロール、街路灯の設置など安全・安心な地域づくりに貢献しています。



いそご商店街 MAP を持って、磯子区内の商店街へ出かけよう！

（いそご商店街 MAP は、各商店街、磯子区役所で配布しています）



商店街朝市 開催中!
原則 奇数月
磯子区役所駐車場 ほか



【お問合せ】 磯子区地域振興課
電話 750-2391 FAX 750-2534

2. 安全・安心 ～特殊詐欺被害が多発しています～

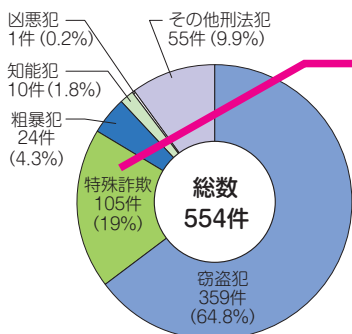
磯子警察署によると磯子区の令和元年の刑法犯認知件数は554件であり、うち特殊詐欺の被害件数は105件です。また、被害総額は1億6,600万円となっており、件数については、平成30年に比べ58件増加しています。

なお、令和2年1月から令和2年6月までの特殊詐欺被害件数及び総額は45件、5,600万円となっています。

交通事故発生件数については、平成30年に比べて減少しており、334件となっています。

※刑法犯認知件数については、令和2年6月末現在の暫定値となります。

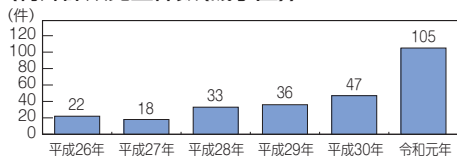
〈令和元年刑法犯認知状況〉



窃盗犯	空き巣・乗り物盗・ひったくり等
粗暴犯	暴行・傷害・脅迫・恐喝等
知能犯	横領・偽造等

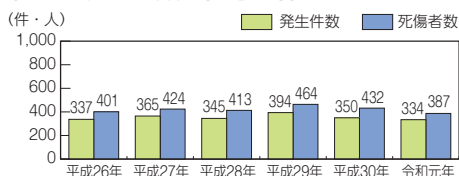
(磯子警察署)

〈特殊詐欺発生件数(磯子区)〉



※平成30年から特殊詐欺の集計方法が変更 (磯子警察署) となっています。

〈交通事故発生件数(磯子区)〉



(神奈川県警察本部交通部交通総務課)

コラム4

磯子区 安全・安心メール (isogo-safety)

～磯子区内の犯罪発生情報などを配信しています!～

ぜひ
ご登録
ください

磯子警察署と連携して、区内で発生したオレオレ詐欺などの特殊詐欺の発生情報やその他の防犯に関する情報を、登録していただいたメールアドレスに配信しています。(住所の登録は不要です)

〈ご利用方法〉

- ① 右の二次バーコードを読み取って表示された URL にアクセスしてください。
- ② ①でアクセスしたウェブページの「メーリングリストのオプション」の「読者登録」をクリックいただき、案内に沿ってメールアドレスを登録してください。



※ Web ページからも直接登録
できます。

磯子区 安全安心メール

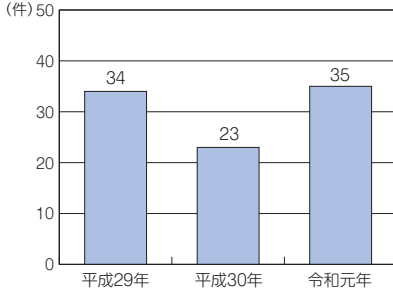
検索

【お問合せ】 磯子区地域振興課
電話 750-2393 FAX 750-2534

3. 火災救急

〈火災発生件数及び概況〉～火災予防にご協力を！～

令和元年中の火災発生件数は、前年と比較して12件増加し、火災による死者が1人、負傷者が5人発生しました。

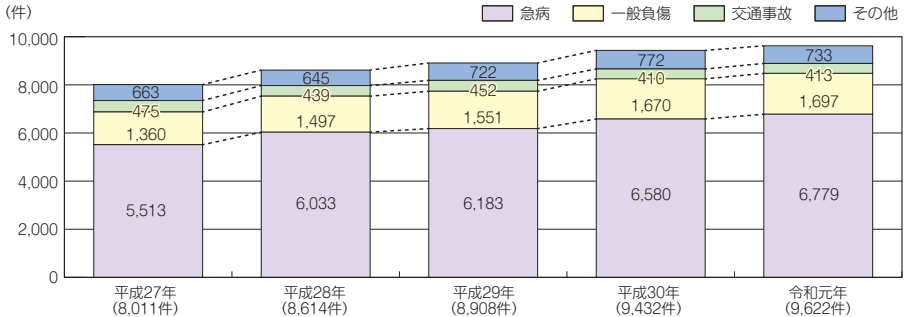


	平成29年	平成30年	令和元年
火災 合計	34	23	35
建物火災	20	15	25
林野火災	—	—	—
車両火災	7	2	1
その他火災	7	6	9
焼損面積 (㎡)	30	303	459
死者 (人)	1	—	1
負傷者 (人)	6	3	5
主な出火原因 (件数)	放火 (5)	放火 (5)	放火 (7)
	ストーブ (4)	こんろ (3)	こんろ (5)
	たばこ (4)	電気機器 (2)	たばこ (4)

※放火の数値は「放火の疑い」も含まれます。【磯子消防署】

主な火災の原因としては、「放火」が7件、「こんろ」が5件、「たばこ」が4件となっています。

〈救急出場件数及び出場内容内訳〉



【磯子消防署】

磯子区内の救急件数は、令和元年は平成30年と比較し、190件の増加となりました。事故種別で見ると「急病」、「一般負傷」、「交通事故」は増加し、「その他」は減少しました。

病気や怪我で迷ったら、#7119 (または045-232-7119) におかけください。相談員に「救急受診できる病院・診療所」「今すぐに受診すべきか救急車を呼ぶべきか」を電話相談できます。(24時間・年中無休)

救急車は限りある資源です。救急車を本当に必要な方が利用できるよう、適切な利用についてご理解をご協力をお願いします。

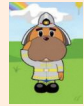
なお、状況や症状からみて緊急だと感じたら、迷わずすぐに119番通報してください。



消防局マスコット
ハマくん

コラム5

消防団加入のご案内



大切な人、大切なまちを災害から守るため、あなたの力が必要です。

あなたの力を地域のために活かして、いざという時のために、防災知識・さまざまな技術等を身に付け、ご家族、地域と一緒に守りましょう。

消防団は本来の仕事や学業、家事をしながら、災害時や地域防災の活動をする非常勤特別職の地方公務員です。

入団資格は磯子区に居住している、または勤務・在学している満18歳以上の方で、男性でも女性でも入団できます。また、処遇等は年額報酬34,000円、出勤報酬1回3,400円、訓練等1回2,400円が支給されるほか、退職報償金制度があります。



車両行進の様子



横浜市消防団

消防団名	定数(人)	実員(人)	充足率(%)
磯子消防団	370	347	93.8
横浜市	8,305	7,848	94.5

(令和2年4月1日現在)

【お問合せ】 磯子消防署総務
電話・FAX 753-0119

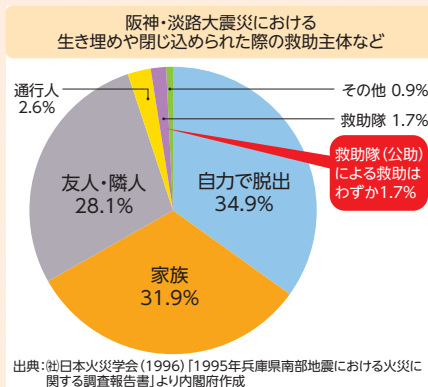
4. 地域防災・自助共助

コラム6

「自助」・「共助」こそが力です

多くの人の命を救ったのは、家族や友人の救助だった！

大地震等による大規模災害が発生した場合には、行政や消防による「公助」には限界があります。そのため、**家庭や地域などにおける「自助」「共助」**が非常に重要です。



阪神・淡路大震災では、7割弱が家族も含む「自助」、約3割が隣人などの「共助」により救出されているという調査結果があります。

◀日頃からできる備えの例▶

自助＝「自分の身は自分で守る」

- ・家具の固定（転倒防止）
- ・感震ブレーカーの設置
- ・食糧・生活用品などの備蓄
（普段から「少し多め」を意識して買っておくローリングストックがおすすめ）



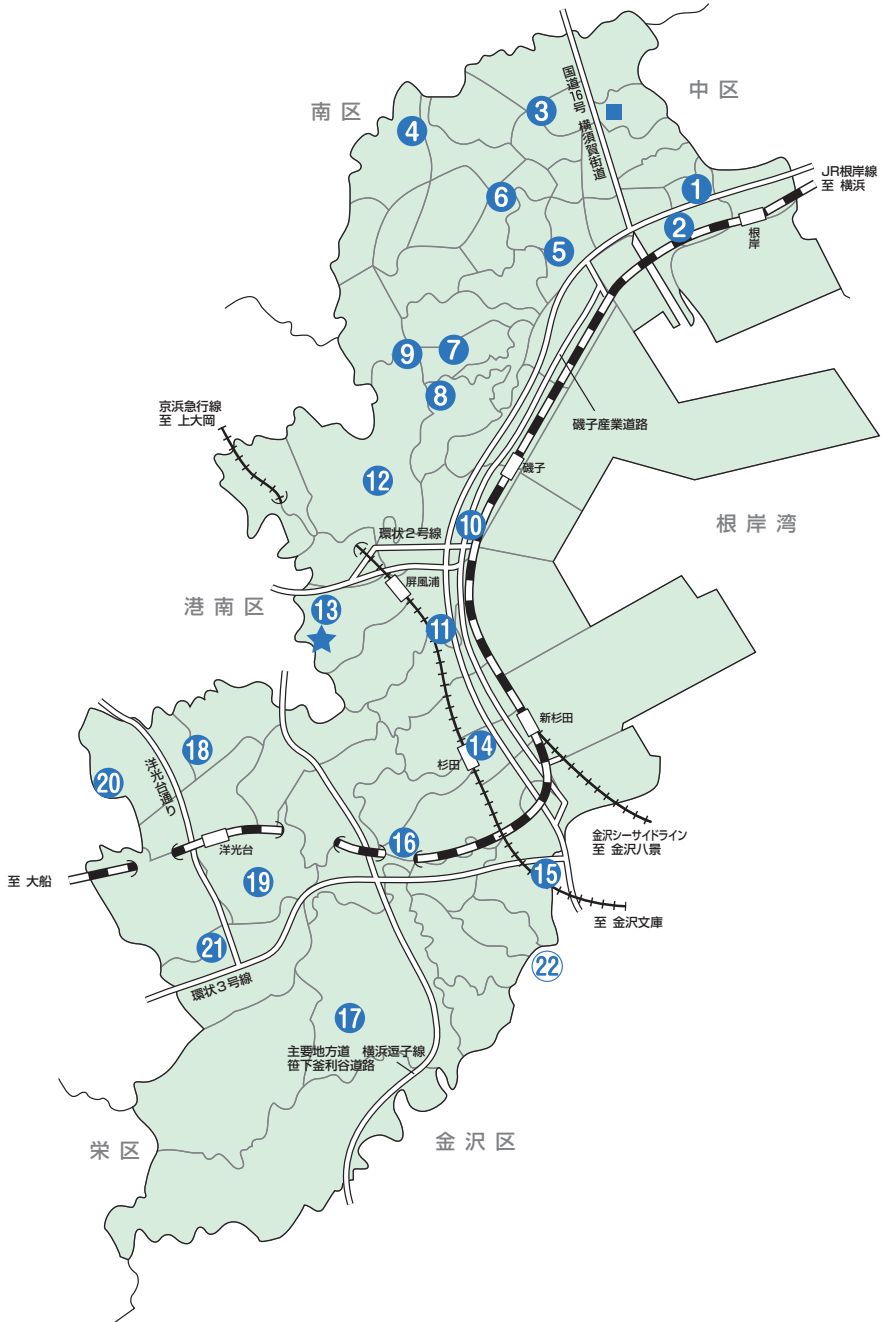
共助＝「住民同士の助け合い」

- ・災害時要援護者の支援
（災害時に自力での避難が困難な人の見守り）
- ・防災訓練、地域防災拠点訓練への参加



【お問合せ】 磯子区総務課
電話 750-2312 FAX 750-2530

〈地域防災拠点・風水害時の避難場所マップ〉



〈地域防災拠点〉～区内21か所を指定～

市内1か所でも震度5強以上の地震を観測した場合に開設され、倒壊や火災により自宅に住めなくなった場合に避難生活を送る場所です。水、食料等の物資の集配場所、救助活動を行うための資機材の保管場所、安否情報・被害情報・救援物資情報の収集・伝達場所としての役割もあります。

地域防災拠点	所在地	地域防災拠点	所在地
① 根岸小学校	磯子区西町2-46	⑫ 汐見台小学校	磯子区汐見台3-6
② 根岸中学校	磯子区西町17-13	⑬ 森中学校	磯子区森5-22-1
③ 滝頭小学校	磯子区丸山2-25-1	⑭ 杉田小学校	磯子区杉田1-8-1
④ 岡村小学校	磯子区岡村4-7-1	⑮ 梅林小学校	磯子区杉田5-13-1
⑤ 磯子小学校	磯子区久木町11-1	⑯ 浜中学校	磯子区杉田3-30-11
⑥ 岡村中学校	磯子区岡村1-14-1	⑰ さわの里小学校	磯子区上中里町548
⑦ 山王台小学校	磯子区磯子5-2-1	⑱ 洋光台第一小学校	磯子区洋光台1-4-1
⑧ 浜小学校	磯子区磯子台23-1	⑲ 洋光台第二小学校	磯子区洋光台4-15-1
⑨ 汐見台中学校	磯子区汐見台1-2-1	⑳ 洋光台第三小学校	磯子区洋光台2-4-1
⑩ 森東小学校	磯子区森1-4	㉑ 洋光台第四小学校	磯子区洋光台6-6-1
★ 磯子工業高校(津波代替施設)	磯子区森5-24-1	㉒ 小田小学校	金沢区富岡西1-69-1
⑪ 屏風浦小学校	磯子区森3-11-1		

〈風水害時に開設される避難場所〉

「避難準備・高齢者等避難開始」の発令、または横浜市南部に「土砂災害警戒情報」が発表された場合には、崖崩れや土石流等の切迫した災害の危険から一時的に逃れるため、緊急の避難場所を開設します。

避難をする際には、水、食料、毛布等避難に必要なものをお持ちください。

避難場所	所在地	避難場所	所在地
■ 根岸地区センター	磯子区馬場町1-42	⑯ 浜中学校(コミュニティハウス)	磯子区杉田3-30-11
④ 岡村小学校	磯子区岡村4-7-1	⑰ さわの里小学校	磯子区上中里町548
⑥ 岡村中学校(コミュニティハウス)	磯子区岡村1-14-1	㉑ 洋光台第四小学校(コミュニティハウス)	磯子区洋光台6-6-1

[磯子区総務課]

〈防災情報Eメール〉

◆横浜市では、地震関連情報、気象警報・注意報などの防災情報をEメールで配信するサービスを行っています。このサービスをスマートフォンや携帯電話で活用することにより、防災情報をいち早く入手することができます。

【登録方法】

空メールを送信 entry-yokohama@bousai-mail.jp

又は二次元バーコードを読み取り

※受信したい情報や区域が選択できます。



考えよう！災害時のペット対策

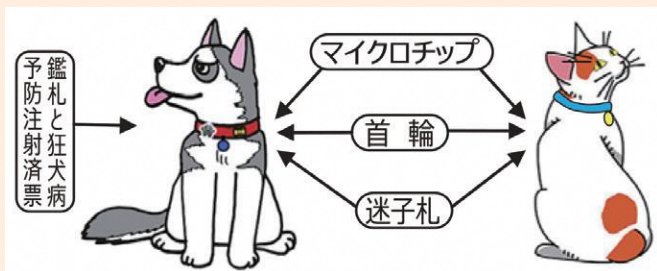
災害はいつ起こるかわかりません。大規模災害発生時には、地域防災拠点へのペットとの同行避難が必要になる場合があります。日頃からペットの防災について心構えと備えをしておくことが大切です。

1. 日頃からの備え

○ペットフード（約1週間分）や飼育ケージなどの用意は基本的に飼い主の責任です。ペット手帳などペットの情報がわかるものも準備しておきましょう。



○災害時、万が一ペットと離ればなれになったときのために、鑑札や狂犬病予防注射済票（犬）、迷子札、マイクロチップの装着など飼い主の明示を行いましょう。



- 地域防災拠点では多くはケージ飼育のため、ケージ訓練や基本的なしつけ（マテ・フセ）を行っておきましょう。また、ワクチンや狂犬病予防接種、ダニ・ノミの駆除など日頃から健康管理もしておきましょう。
- 親戚や知人宅など、一時的にでも動物と一緒に避難できる場所や動物を預かってくれる場所を確保しておくことも対策の一つです。

2. 地域防災拠点では

- 避難してくる人のなかには、動物が苦手な方やアレルギーを持っている方もいます。そのため、地域防災拠点では原則的に人が優先されますが、ペットに関するルールは、地域防災拠点によって異なります。飼い主の責任のもと、ルールを守り、協力し合ってペットを管理しましょう。
- 居住スペース（体育館や教室など）に動物を入れることは原則としてできません。ただし、身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬および聴導犬）の同伴は可能です。

【お問合せ】 磯子区生活衛生課
電話 750-2452 FAX 750-2548

5. 土地利用

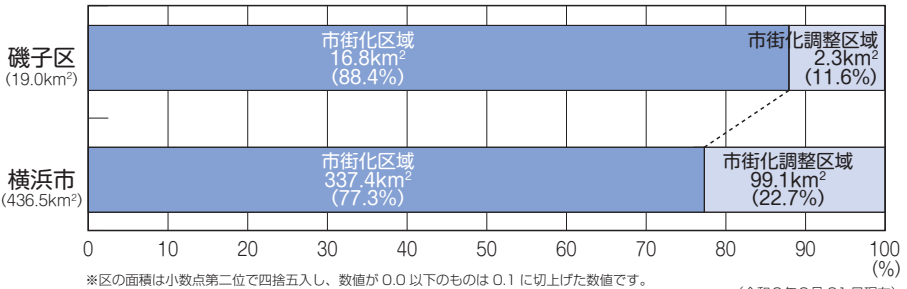
磯子区の市街化区域の割合は 88.4%であり、横浜市の割合 77.3%と比べて市街化が進んでいることがわかります。

用途地域に注目すると工業専用地域が 21.4%と横浜市の割合 5.5% を大きく上回っており、鶴見区 (27.7%) に次ぎ 2 番目に多くなっています。

昭和 30 年代からの根岸湾の埋立てにより多くの企業が進出し、臨海部は京浜工業地帯の一翼を担う地区へと発展しました。

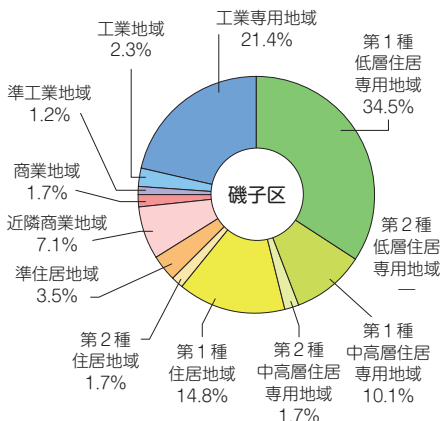
- 市街化区域 → 既に市街地を形成している区域及び優先的かつ計画的に市街化を図る区域
- 市街化調整区域 → 市街化を抑制する区域
- 用途地域 → 市街化区域のなかで、区域ごとに建設できる建物の高さや施設の種類を定めるもの

〈都市計画区域の構成〉

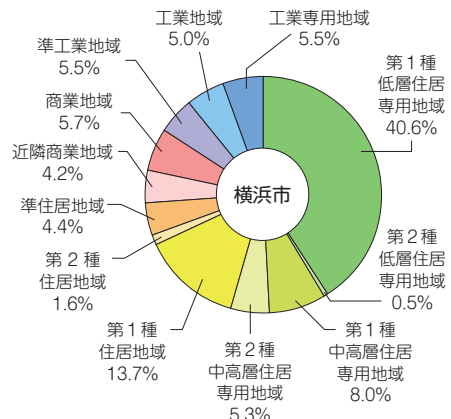


(令和 2 年 3 月 31 日現在)
[建築局都市計画課]

〈磯子区用途地域の割合〉



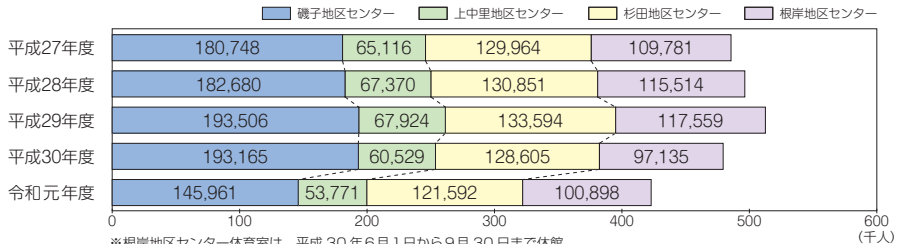
〈横浜市用途地域の割合〉



(令和 2 年 3 月 31 日現在)
[建築局都市計画課]

6. 区民利用施設

〈地区センター利用者数の推移〉

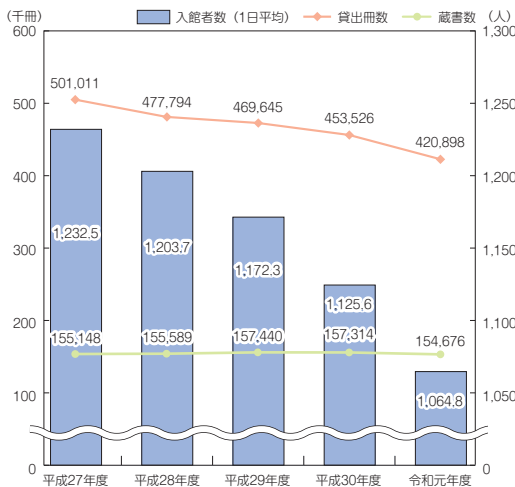


※根岸地区センター体育室は、平成30年6月1日から9月30日まで休館。

※令和元年度は、すべての地区センターにおいて令和2年3月3日から3月31日まで休館。

(磯子区地域振興課)

〈磯子図書館の利用状況とその推移〉



令和元年度は、令和2年3月2日から3月31日まで一部サービスに限定。(磯子図書館)

〈市内図書館別年間貸出冊数と1日平均入館者数〉

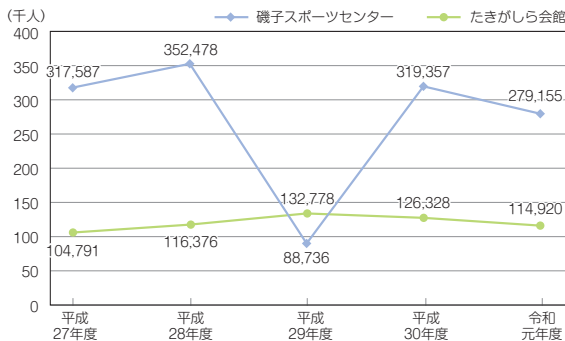
図書館名	年間貸出冊数(冊)	1日平均入館者数(人)	【参考】 区人口(人)
中央(西区)	903,067	2,745.6	104,413
鶴見	347,751	761.9	293,560
神奈川	451,473	929.9	245,682
中	221,787	683.6	150,895
南	314,544	887.6	195,947
港南	332,301	516.5	293,661
保土ヶ谷	422,628	955.7	205,684
旭	346,498	709.4	245,007
磯子	420,898	1,064.8	166,471
金沢	427,197	1,218.4	197,598
港北	621,803	1,349.8	354,746
緑	503,640	1,069.4	182,646
山内(青葉区)	599,724	1,473.6	310,759
都筑	937,917	2,295.9	213,098
戸塚	600,406	1,754.7	280,717
栄	403,970	833.4	119,225
泉	364,899	618.7	151,879
瀬谷	240,401	475.9	121,783

(令和元年度)

(磯子図書館)

出典：推計人口(令和2年4月1日現在)

〈磯子スポーツセンター等利用者推移〉



※磯子スポーツセンターは次の期間は休館。

①平成29年7月1日から平成30年3月31日

②令和2年3月3日から3月31日

※たきがしら会館は、令和2年3月3日から3月31日まで休館 (磯子区地域振興課)

〈コミュニティハウス利用状況〉

施設名	利用者(人)
滝頭 コミュニティハウス	30,537
岡村中学校 コミュニティハウス	14,678
根岸中学校 コミュニティハウス	11,236
浜小学校 コミュニティハウス	9,328
浜中学校 コミュニティハウス	10,842
洋光台第三小学校 コミュニティハウス	15,433
洋光台第四小学校 コミュニティハウス	15,109

※令和2年3月3日から3月31日まで休館

(令和2年3月31日現在)

(磯子区地域振興課)

7. 公園・道路

〈区内の主な公園等〉 ～緑あふれる区民のオアシス、公園・緑地は区内 120 か所に～



区内には120の公園や緑地(合計46.9ha)があって、区民のオアシスとして利用されているよ。



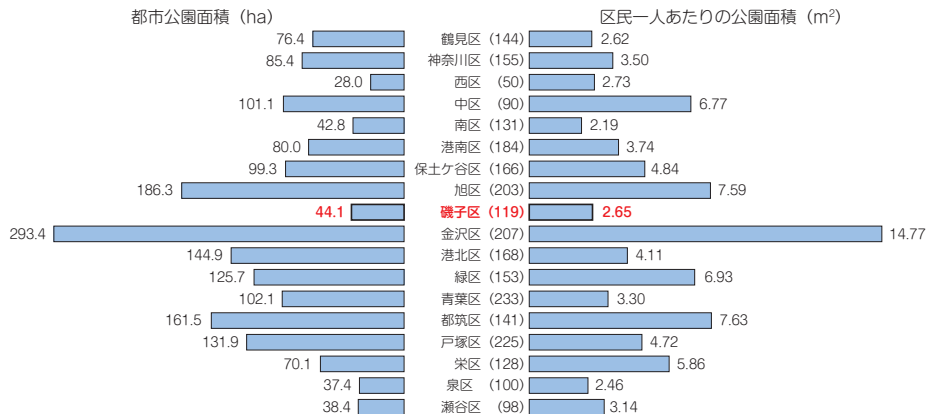
〈磯子区の公園数・面積の内訳〉

	数	面積 (ha)
街区公園	104	16.4
近隣公園	6	9.5
地区公園	3	13.0
歴史公園	1	0.6
広場公園	1	0.1
都市緑地	3	4.2
緑道	1	0.2
港湾緑地	1	2.9
合計	120	46.9

※久良岐公園の主な所在地は港南区になり、右表には含まれておりません。
 ※港湾緑地 (杉田臨海緑地) は次ページの都市公園数には含まれておりません。

(令和2年3月31日現在)
 [磯子土木事務所]

〈区別都市公園面積・都市公園数・区民一人あたりの公園面積〉



※()内は公園数で、県立公園を含みます。

(令和2年3月31日現在)
(環境創造局みどりアップ推進課)

〈磯子区の道路延長〉

	磯子区		横浜市	
	延長 (m)	舗装延長 (m)	延長 (m)	舗装延長 (m)
国道	11,157	11,157	119,727	119,727
県道	2,500	2,500	200,155	200,155
市道	279,762	276,801	7,414,984	7,286,284
有料道路	6,453	6,453	117,117	117,117
総延長	299,872	296,911	7,851,983	7,723,283

※数値は四捨五入をしているため必ずしも総延長と一致しません。

(平成31年4月1日現在)
(道路局道路調査課)

〈都市計画道路区別総括表〉

区名	計画延長 (m)	整備済延長 (m)	整備率 (%)
鶴見区	58,830	36,040	61.3
神奈川区	41,300	27,250	66.0
西区	21,330	20,900	98.0
中区	41,150	38,570	93.7
南区	16,960	15,210	89.7
港南区	30,890	26,260	85.0
保土ヶ谷区	31,020	15,140	48.8
旭区	33,650	14,150	42.1
磯子区	23,930	22,380	93.5
金沢区	38,340	26,500	69.1
港北区	55,350	24,910	45.0
緑区	33,440	25,080	75.0
青葉区	45,610	34,700	76.1
都筑区	64,040	60,970	95.2
戸塚区	52,960	32,080	60.6
栄区	27,390	11,430	41.7
泉区	34,210	21,570	63.1
瀬谷区	29,030	13,920	48.0
横浜市合計	679,430	467,060	68.7

(令和2年3月31日現在)
(道路局企画課)

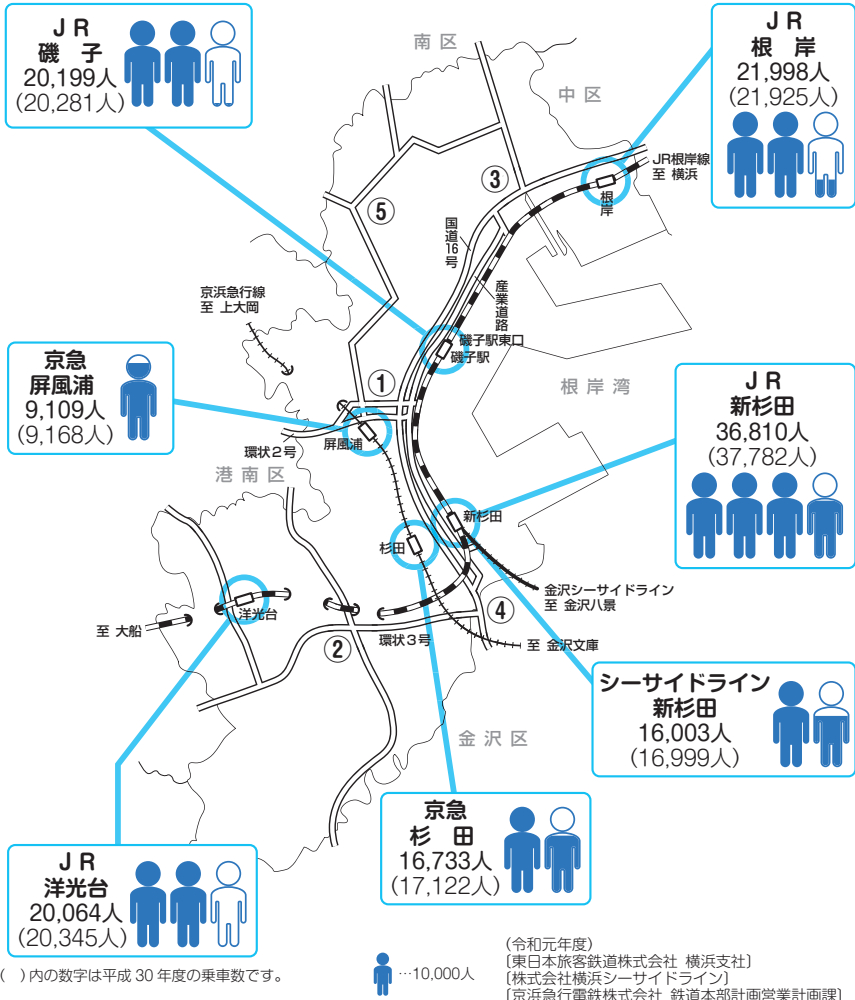
都市計画道路とは、都市計画法に基づいて、あらかじめルート・幅員が決められ、まちづくりに大きく関わる都市の骨格となる道路のことです。

8. 鉄道・交通

磯子区内には駅がJR線4駅、京急線2駅、金沢シーサイドライン1駅あり、JR新杉田駅の乗車数が最大になっています。また令和元年度の一日あたりの乗車人員は、前年度と比べても大きな差はありません。

主要道路の交通量は通行車数、通行車数に占める小型車の台数で栗木の交差点が最も少なくなっています。

〈区内駅別乗車人員（一日あたり平均）及び主要道路の交通量（平日7:00～19:00）〉



交差点名称 (所在地)	①屏風ヶ浦(森二丁目)	②栗木(栗木三丁目)	③八幡橋(中浜町)	④青砥坂(杉田五丁目)	⑤奄堀(岡村六丁目)
平成30年度	26,170台 [23,310台]	32,650台 [29,243台]	30,789台 [27,189台]	23,806台 [21,130台]	9,303台 [8,437台]

[] の数字は通行車数に占める小型車の台数です。

(平成30年度交通量調査 道路局企画課)

9. ごみと資源物

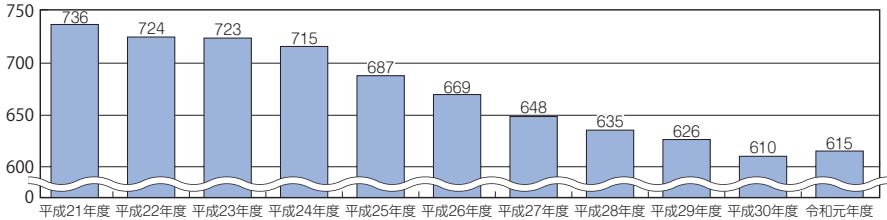
平成23年1月に策定した「ヨコハマ^{スリム}3R夢プラン」は、平成22年度から令和7年度までの16年間の長期計画であり、ごみと資源（古紙、プラスチック、缶など）の総量の削減を目標としています。

令和元年度の磯子区のごみと資源の総量は37,480tで、第3期推進計画目標（平成30年度から4年間の目標）の基準年度である平成29年度比で▲1.6%でした。

また、令和元年度の磯子区の1人1日あたりのごみと資源の総排出量は615gでした。

昨年度と比較し増加となった要因は、大型台風による災害ごみや、新型コロナウイルス対策による在宅日数が増えたこと等が考えられます。

(g) <1人1日あたりのごみと資源の総排出量の推移>



磯子区では、区民、事業者、行政が一体となって環境行動を促進するため、様々な普及・啓発活動を促進しています。令和2年度目標は、1人1日あたりの家庭系ごみの排出総量を基準年度よりも17g削減した609gとなっています。

<横浜市の目標>「ヨコハマ^{スリム}3R夢プラン」（削減率はすべて平成21年度比）

- ・ごみと資源の総量を令和7年度までに10%以上削減
第3期推進計画目標において令和3年度までに8%以上削減
- ・ごみ処理に伴う温室効果ガスを令和7年度までに50%以上削減
第3期推進計画目標において令和3年度までに25%以上削減

コラム8

減らそう！ プラスチックごみ

どんな問題があるの？

- ・世界全体で年間数百万トンものプラスチックが陸上から海洋へ流出しています。このままでは、2050年までに魚の重量を上回るプラスチックごみが海洋を占めると予測されています。
- ・リサイクルされない石油資源のプラスチックを燃やすと、多くの温室効果ガスが排出されるため、地球温暖化の要因の一つとなっています。

問題解決に向けて私たちができること

ポイ捨てをしないことに加え、ごみの元となるプラスチック、特に「使い捨てプラスチック」の利用を減らしていくことです。



マイバッグを使用しましょう

買い物の際はレジ袋をもらわず、**マイバッグ**を使いましょう。
※令和2年7月1日より、レジ袋の有料化がスタートしています。



マイボトルを使用しましょう

ペットボトルなどのごみを減らすために、出掛ける際には**マイボトル**を持参しましょう。



使い捨て食器は断りましょう

マイ箸などを使用し、使い捨てのフォークやスプーン、ストローをもらわないようにしましょう。

もったいない！まだ食べられるのに廃棄されている「食品ロス」の現状

食品ロスとは、食べ残しや手つかず食品、むき過ぎた野菜の皮など、本来食べられるのに、廃棄されている食べ物のことを指します。

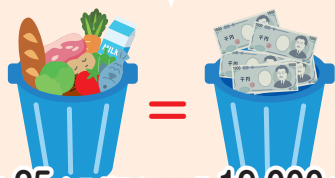
横浜市の家庭から出される燃やすごみの中には、年間約 **9万4千トン**もの食品ロスが含まれており、これは一人当たり年間約 **25キロ**になる量です。

一人当たり年間約 **19,000円**が捨てられている計算になります。



燃やすごみの中から見つかった「手つかず食品」の例

これを金額に換算すると



約 **25キログラム** 約 **19,000円**

▶食品ロスをなくすことで、家計の節約にもつながります。一人ひとりができる『暮らしの中のもったいない』を見直しましょう。

フードドライブ活動 ～令和2年8月より、区役所に常設窓口を開設しました～

フードドライブ活動とは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉施設や団体などに寄贈する活動です。まだ食べられるのに廃棄される食品を活用することで、食品ロスの削減にもつながります。

なお、区役所が集めた食品は、社会福祉協議会及びフードバンク団体を通じて、地域の福祉施設や食を必要としている方に寄贈しています。

区役所でのフードドライブ活動の流れ



ご提供いただける食品例

- ・お米、お茶漬け、海苔、ふりかけ
- ・パスタ、素麺などの乾麺
- ・調味料（しょうゆ、食用油など）
- ・缶詰、レトルト・インスタント食品
- ・粉ミルク、離乳食、お菓子 など



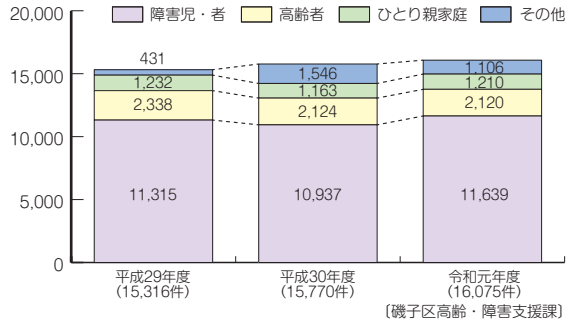
確認していただきたいこと「3か条」

- ①未開封のもの（外装が破損していないもの）
- ②賞味期限（要明記）が**2か月以上**あるもの
- ③常温保存できるもの

福祉・保健

◆福祉と保健の相談件数（磯子区）

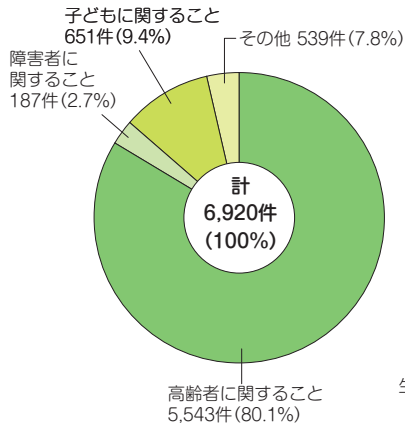
福祉と保健の相談窓口では、ソーシャルワーカー・保健師が連携して、高齢者（介護保険・介護保険以外のサービス・訪問指導・介護予防など）、障害児・者（身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・愛の手帳・自立支援医療・手当・補装具など）、ひとり親家庭（児童扶養手当・母子生活支援施設・修学資金貸付など）に関することなど様々な相談に応じています。



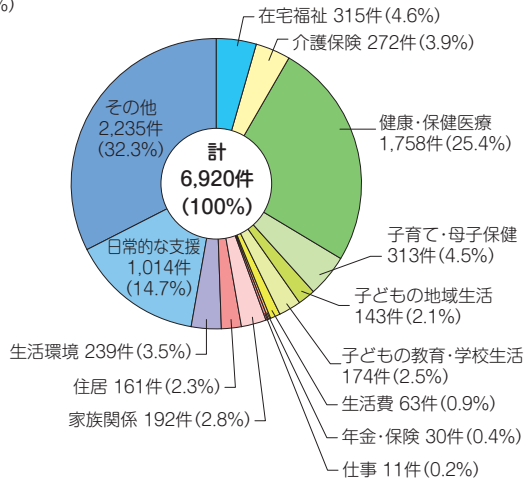
◆民生委員・児童委員活動件数（磯子区） ～相談件数における健康・保健医療の割合が最多～

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、住民の立場に立って様々な相談に応じ、必要な援助を行うことで地域福祉の増進に努めています。

〈相談支援〉（分類別）



〈相談支援〉（内容別）



※項目は厚生労働省報告例によります。

（令和元年度）
（磯子区福祉保健課）

◆地域ケアプラザ

地域ケアプラザは、高齢者、子ども、障害のある人など誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点として取組を行っている、横浜市独自の施設です。地域の皆さんの福祉・保健活動等の支援や交流の場として、各部屋の貸し出しや福祉保健に関する相談を受けるなど様々な取組を行っています。

各ケアプラザ名	所在地・連絡先	交通（アクセス）
根岸地域ケアプラザ	磯子区馬場町1-42 (電話: 751-4801)	JR「根岸駅」徒歩20分 市営バス「坂下公園前」徒歩3分
滝頭地域ケアプラザ	磯子区滝頭2-30-1 (電話: 750-5151)	市営バス「滝頭地域ケアプラザ前」 「市電保存館前」徒歩3分
磯子地域ケアプラザ	磯子区磯子3-1-22 (電話: 758-0180)	JR「磯子駅」徒歩10分
屏風ヶ浦地域ケアプラザ	磯子区森4-1-17 (電話: 750-5411)	京浜急行「屏風浦駅」徒歩3分
新杉田地域ケアプラザ	磯子区新杉田町8-7 (電話: 771-3332)	JR / シーサイドライン 「新杉田駅」徒歩1分
洋光台地域ケアプラザ	磯子区洋光台6-7-1 (電話: 832-5191)	JR「洋光台駅」徒歩10分
上笹下地域ケアプラザ	磯子区水取沢町60-17 (電話: 769-0240)	市営バス「上笹下地域ケアプラザ前」 徒歩3分、「上中里団地」徒歩5分

コラム 00

第3期磯子区地域福祉保健計画「スイッチ ON 磯子」 計画期間：2016年4月～2021年3月



「スイッチ ON 磯子」って？

「磯子区地域福祉保健計画」の愛称です。地域の様々な人や団体につながりあい、誰もが幸せに暮らせるまちという共通の目標を目指すための計画です。計画は5年ごとに見直しをすることになっており、磯子区では、令和3年度から始まる第4期計画策定に向けて、地域の皆さまと話し合いを行っています。

どうして計画が必要なの？

少子高齢化や住民同士のつながりの希薄化等の社会情勢の変化により、子育てのしづらさや社会的孤立、自分や家族だけでは解決できないことが増えています。多様化する地域の課題に対し、人と人とのつながり、支えあいながら幸せに暮らせる地域を作っていくための計画を策定することが求められています。

誰がこの計画を進めるの？

住民のみならず、自治会町内会やボランティアなどの地域の団体、関係機関、企業、地域ケアプラザ、区役所、区社会福祉協議会など、すべての人や団体が、この計画を進めていく主体です。

第4期計画の方向性は？

みなさまのご意見等を基に、基本理念と基本目標が決まりました。実現に向けて、みなさんと一緒に取り組みを進めていきます。

「スイッチ ON 磯子」には一人ひとりが何かを始めるスイッチを押す、という意味がこもっているんだよ



たくさんの方がこの計画を意識し、スイッチを押す仲間になってほしい！

計画案内役「梅さん」

基本理念

誰もが幸せに暮らせるまちをみんなで作る

- 基本目標Ⅰ 共に支えあうおおいさまのまち
- 基本目標Ⅱ 自分らしく健やかに暮らせるまち
- 基本目標Ⅲ 多様性を認めあい、活動が広がり、つながりのあるまち

【お問合せ】 磯子区福祉保健課
電話 750-2442 FAX 750-2547

スイッチON磯子

検索

1. 子育て ～様々な保育資源を活用した子育て支援サービス～

〈地域子育て支援拠点「いそピヨ」〉

地域子育て支援拠点は、親子の居場所、子育て相談、情報提供、人材育成、ネットワークなどの機能を持つ施設として各区1か所設置されています。磯子区では「いそピヨ」が平成22年1月にJR磯子駅前に開所し、未就学児とその保護者への子育て支援や、子育て支援活動に取り組む人への支援を行っています。

〈いそピヨの居場所事業〉

未就学児と保護者が、遊びや交流ができる場を提供しています。初めての方でも来しやすいうようにスタッフが温かく、見守りや声掛けをしながら、講座・イベントなどをたくさん実施しています。

〈いそピヨの利用状況〉

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規登録者数(人)	1,014	969	1,013	777
のべ利用者数(親など・子)(人)	24,243	23,958	23,910	18,771
1日平均利用者数(親など・子)(人)	100.2	98.4	99.2	78.5

※令和2年3月3日から3月31日まで休館

(磯子区こども家庭支援課)

磯子区地域子育て支援拠点「いそピヨ」

磯子区森 1-7-10 トワイシア横濱磯子2階 (JR磯子駅西口から歩道橋直結)

電話 750-1322 FAX 750-1323 URL : <http://www.isopiyo-isogo.com/>

開館時間：火曜日～土曜日 9：30～15：30 (日曜日・月曜日・祝日・年末年始、特別休館日は休み)

対象者：0歳～未就学児とその保護者、妊娠中の方とパートナー・家族、子育て支援に関わる地域の方

利用料：無料

コラムⅢ

地域子育て支援拠点以外の身近な 「親と子のつどいの広場」

親と子のつどいの広場は、地域の子育て中の親子（主に0～3歳の未就学児と保護者）を対象に、マンションの一室や商店街の空き店舗などで、子育て親子の交流や子育ての相談、地域の子育て情報の収集・提供などを行っている親子でつどえる身近な場です。

様々な地域の子どもや養育者の声に合わせた、楽しいイベントや教室やホッとできる時間があります。一度のぞいてみませんか？

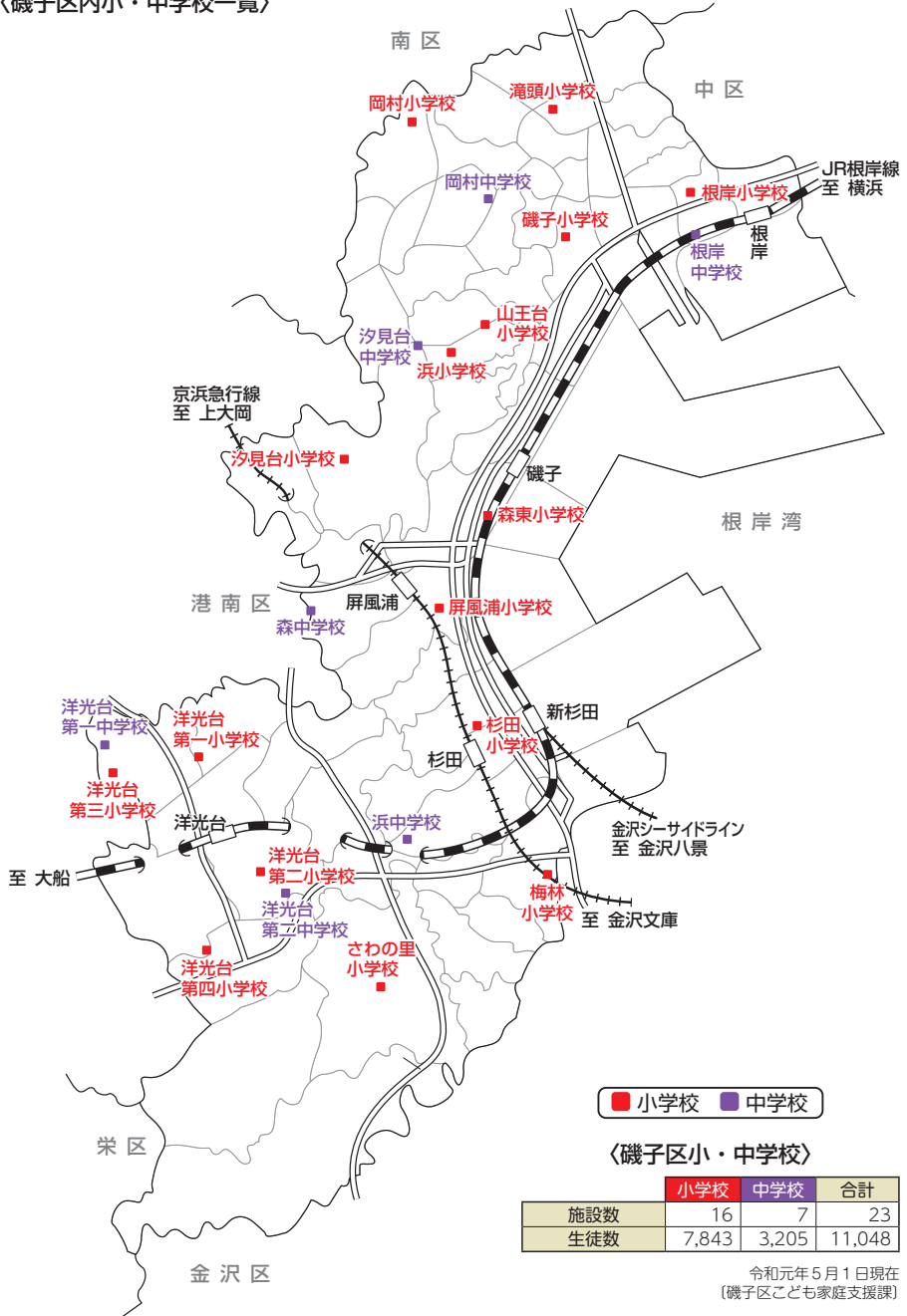
(登録料あり・利用料一回100～300円程度)

広場名	所在地・連絡先	交通	開催日時	一時預かり
夢ひろば	磯子区中原 4-26-27 ライオンズステーションプラザ 杉田 204 (電話：353-5051)	京急 杉田駅から 徒歩1分	月・火・木・金 10時～16時	★
子育てスポット くすくす	磯子区東町 9-9 2階 (電話：753-5216)	JR 根岸駅から 徒歩3分	月～金 10時～15時	★
親と子のひろば だっこ	磯子区森 5-16-15 丸ハビル 101 (電話：349-3473)	京急 屏風浦駅から 徒歩3分	月・火・木・金 9時45分～16時15分	
子育てキディ洋光台	磯子区洋光台 3-13-2-109 (電話：836-1225)	JR 洋光台駅から 徒歩1分	月～金 10時～16時	
親と子のつどいの広場 夢たま	磯子区丸山 2-9-17 1階 (電話：342-7879)	JR 根岸駅から徒歩15分 (根岸橋商店街内)	月・火・木・金 10時～16時	
Kids スペース マカナ	磯子区洋光台 1-13-30 第10武内ビル 201号室 (電話：367-9465)	京急バス・江ノ電/バス 田中バス停から徒歩2分 江ノ電/バス洋光台入口 バス停から徒歩1分	月・火・木・金 9時30分～15時	

(年末年始・祝日は休み)

【お問合せ】 磯子区こども家庭支援課 電話 750-2449 FAX 750-2540

〈磯子区内小・中学校一覧〉



子どもたちの放課後の居場所

放課後の居場所～放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ～

子どもが小学校入学後も保護者が仕事と育児を両立できるよう、放課後の居場所の充実を図っています。市立小学校の施設内には普段通学している児童などが通う「放課後キッズクラブ」が、民間施設内には就労などにより昼間家庭に保護者がいない児童が通う「放課後児童クラブ」があります。

いずれの施設も子どもが安全で豊かな放課後を過ごすための居場所となっています。

【お問合せ】 磯子区子ども家庭支援課
電話 750-2476 FAX 750-2540

中学生・高校生世代の若者の居場所～イソカツ～

気軽集えるフリースペースがあるほか、ボランティア体験や職業体験、利用者自身が企画したイベントも実施しています。

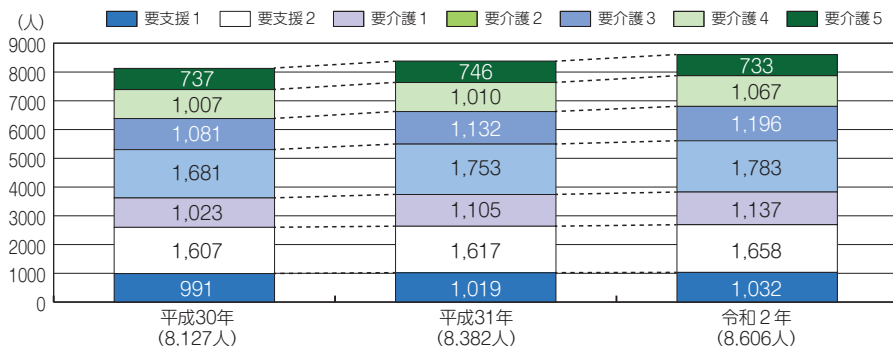
磯子区磯子3-4-23 浜田ビル2階 (JR 磯子駅西口 徒歩5分)
開所時間 火・木曜 15～20時 土曜 13～18時

【お問合せ】 青少年の地域活動拠点 イソカツ
電話 080-4423-1876

2. 高齢者

〈要介護（支援）認定者の状況（磯子区）〉 ～認定者数は増加の一途～

介護保険は、高齢者の介護を社会全体で支えていくために設けられた制度です。要介護（支援）認定者数は、8,606人で、前年と比較し、224人増加しています。



(各年3月31日現在)
〔磯子区高齢・障害支援課〕

あなたも認知症サポーターになりませんか！

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた磯子区行動指針」では、本人の「想い」を実現する支援を大切にしています。

現在、65歳以上の18%以上（約6人に1人相当）の方が認知症と推定されており、「認知症」になっても本人の意思が尊重され、地域で暮らし続けることができるよう、「認知症の方の理解者を増やす」取組を行うことが必要です。

認知症サポーターとは

認知症について正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の方やその家族をあたたく見守る「応援者」です。磯子区の認知症サポーターは、令和2年3月末時点で17,765人に達しましたが、今後も更にサポーターを増やしていきたいと考えます。



「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた磯子区行動指針」

認知症サポーターになるにはどうしたらいいの？

お近くの地域ケアプラザなどで認知症サポーター養成講座を開催しています。

認知症についての正しい知識や認知症の方にどのように接したら良いかなどを学びます（1時間半程度・無料）。受講された方には、認知症サポーターの証としてオレンジリングをお渡ししています。

認知症サポーター養成講座で学んだことを活かすには？



認知症サポーターの証
「オレンジリング」

認知症サポーター養成講座で学んだ知識を高齢者支援に生かす、磯子区独自の「いそごオレンジボランティア」の取組を進めています。認知症サポーターの方は磯子区社会福祉協議会またはお近くの地域ケアプラザでボランティア登録ができ、認知症カフェ等で認知症の知識を活かすことができます。

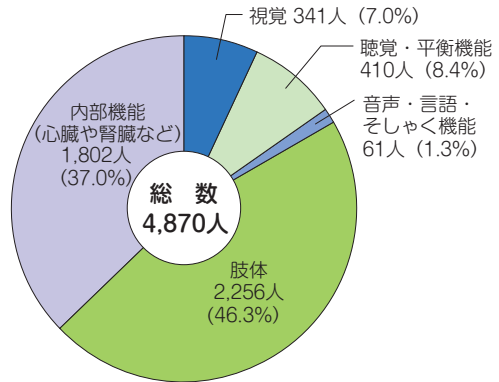
【お問合せ】 磯子区高齢・障害支援課
電話 750-2417 FAX 750-2540

3. 障害者 ～手帳所持者の方に対して、様々な相談やサービス提供を行っています～

障害のある方に交付する手帳は3種類あります。各手帳をお持ちの方は、障害の種類や程度に応じて在宅生活の支援や外出の支援、手当等各種制度を利用できます。

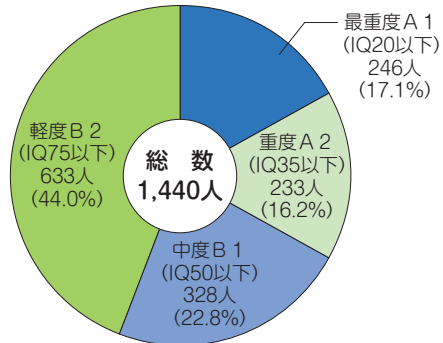
〈身体障害者手帳所持者数〉

手帳の交付対象となるのは、視覚、聴覚・平衡機能、音声・言語・そしゃく機能、肢体、内部機能（心臓や腎臓など）に永続する障害があり、障害者等級表に該当する方で、障害の程度によって、1級から6級までに区分されます。磯子区内の身体障害者手帳の所持者は、4,870人です。



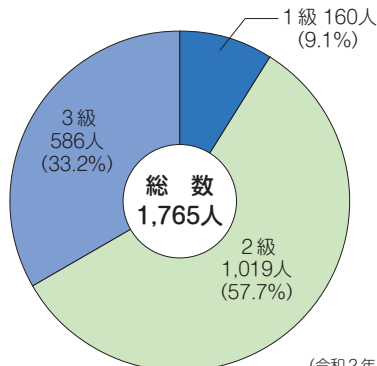
〈愛の手帳（療育手帳）所持者数〉

手帳の交付対象となるのは、児童相談所又は障害者更生相談所で知的障害と判定された方で、障害の程度によって4段階に区分されます。磯子区内の愛の手帳所持者は全体で1,440人ですが、そのうち516人（35.8%）が18歳未満です。



〈精神障害者保健福祉手帳所持者数〉

手帳の交付対象となるのは、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある方で、障害の程度によって重いほうから1級・2級・3級に区分されます。磯子区内の精神障害者保健福祉手帳の所持者は1,765人で、年々増加しています。

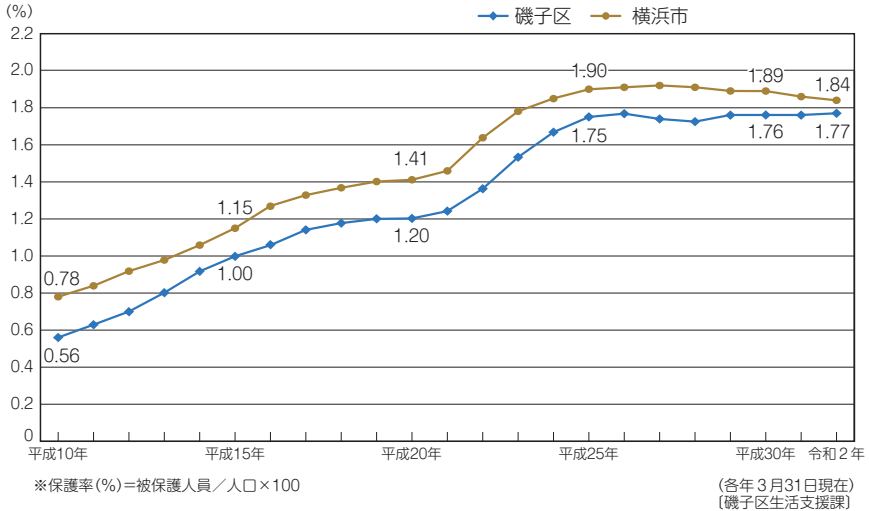


(令和2年3月31日現在)
【磯子区高齢・障害支援課】

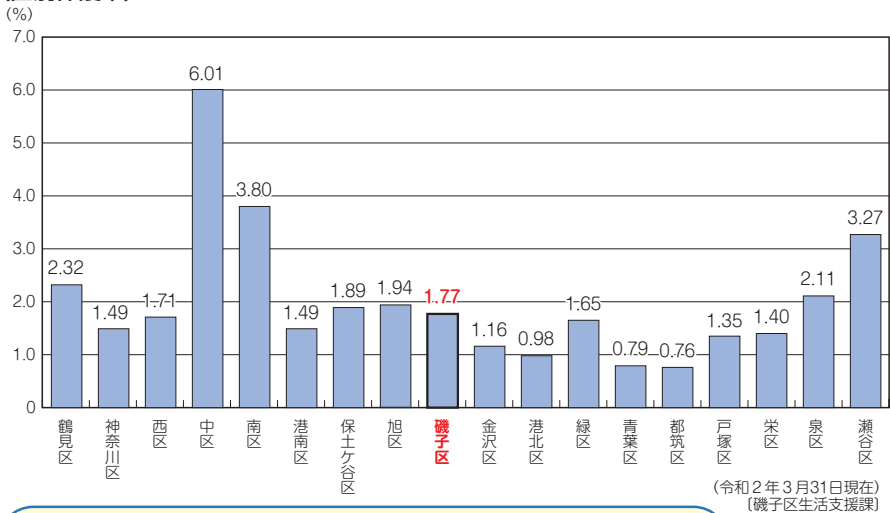
4. 生活保護

〈生活保護率の推移〉

令和2年3月末現在の保護率(人口100人あたりの生活保護者数)は、1.77%で横浜市の平均(1.84%)よりは低いものの、平成10年(0.56%)と比較すると約3.2倍になっています。



〈区別保護率〉



〈ジョブスポットとの連携〉

区役所5階の生活支援課に隣接しているハローワークの窓口(ジョブスポット)と連携し、求人情報の速やかな提供や専門職員によるきめ細やかな相談などを行い、生活保護受給者や生活にお困りの方の就労に向けた支援を行っています。



保 険 ・ 年 金

<国民健康保険>

日本では、病気やけがをした場合に、その経済的な負担を軽減し、安心して治療が受けられるように、原則としてすべての方が何らかの医療保険制度に加入することになっています(国民皆保険制度)。

国民健康保険は、他の医療保険(会社などの健康保険)に加入していない方を被保険者とする、国民皆保険制度の基礎となっています。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
被保険者数 (加入率)	磯子区	38,438 人 (23.1%)	36,610 人 (22.0%)	34,581 人 (20.8%)	33,227 人 (20.0%)	32,171 人 (19.2%)
	横浜市	828,321 人 (22.2%)	782,199 人 (21.0%)	740,077 人 (19.8%)	707,634 人 (18.9%)	684,097 人 (18.2%)
保険料 収納率	磯子区	82.4%	84.7%	87.0%	91.2%	92.2%
	横浜市	81.8%	84.1%	86.2%	89.3%	90.1%

<後期高齢者医療制度>

高齢者の皆さんが、将来も安心して医療を受けることができるよう、平成20年度から始まった制度です。75歳になるとすべての方が、今まで加入していた国民健康保険や他の医療保険(会社などの健康保険)から後期高齢者医療保険に移行することになります。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
被保険者数	磯子区	20,777 人	21,563 人	22,204 人	22,987 人	23,440 人
	横浜市	396,365 人	414,887 人	430,640 人	449,278 人	460,973 人

<国民年金>

国民年金は、日本国内に住所がある20歳以上60歳未満のすべての方が加入しなければならない年金制度です。国民年金では、老後の生活を支える「老齢基礎年金」、事故や病気や障害が残ったときには「障害基礎年金」、家計を支えていた方が亡くなったときには「遺族基礎年金」などの給付を受けることができます。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
第 1 号及 び任意加入 被保険者数 ※	磯子区	20,414 人	19,570 人	18,454 人	18,288 人	18,244 人
	横浜市	472,472 人	450,501 人	433,445 人	429,979 人	431,160 人
受給者数	磯子区	41,895 人	43,418 人	44,758 人	45,355 人	45,391 人
	横浜市	823,486 人	857,630 人	888,005 人	902,143 人	912,490 人

※第1号被保険者…自営業・学生の方等

任意加入被保険者…60歳以上65歳未満の方(年金額を満額に近づけたい方や年金の受給資格期間を満たしていない方)等

(磯子区保険年金課)

税 金

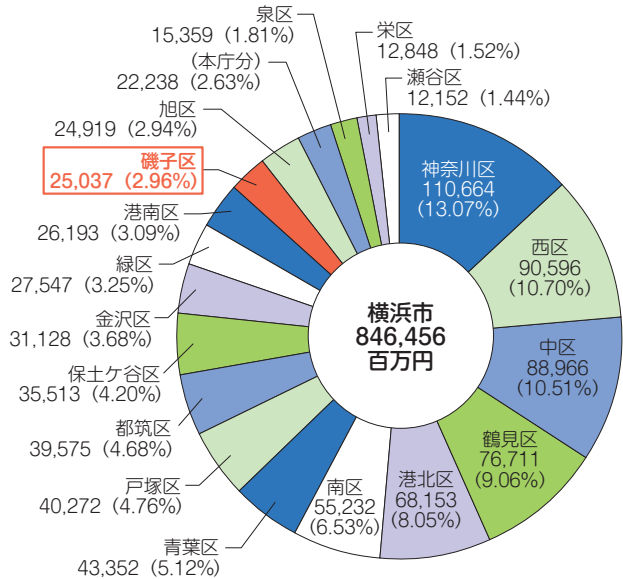
◆市税収入 ～市政を支える貴重な財政基盤～

〈市税収入区別割合〉

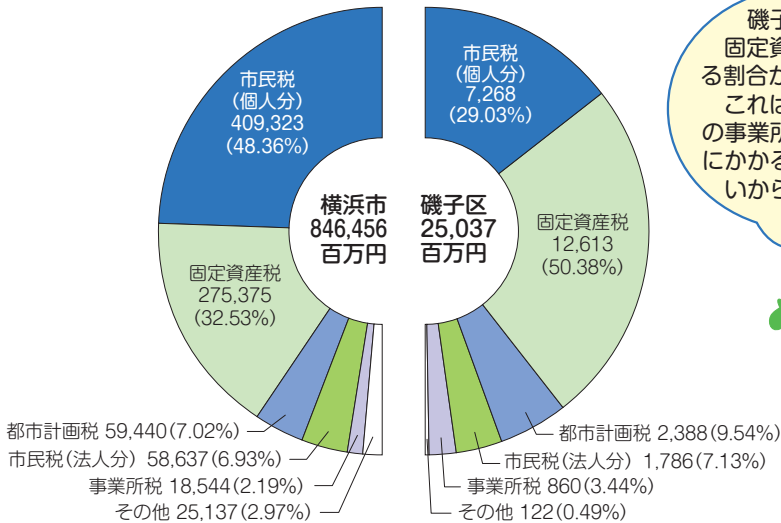
市税収入は18区中14番目

・磯子区の市税収入額は、約**250億円**で市全体の**2.96%**を占めています。

・市税収入区別割合は、18区中14番目の規模となっています。



〈市税収入税目別構成比〉



磯子区では固定資産税の占める割合が多いんだ。これは主に沿岸部の事業所の償却資産にかかる納税額が多いからなんだよ。



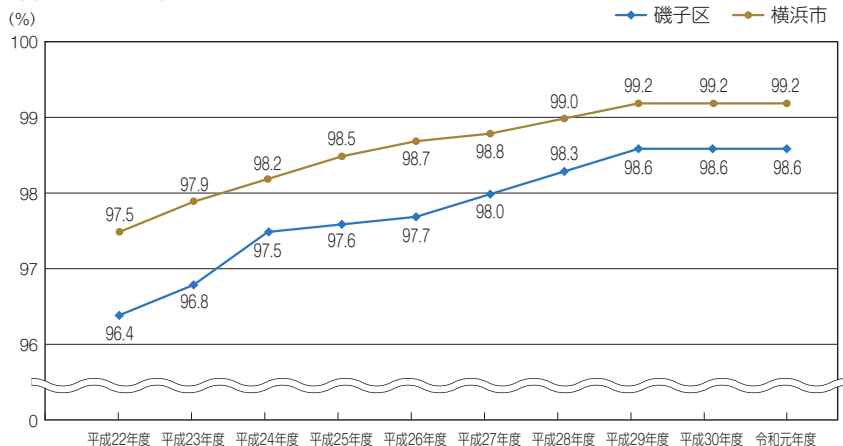
※収入額は単位未満を四捨五入しているため、必ずしも合計とは一致しません。

(令和元年度)
(磯子区税務課)

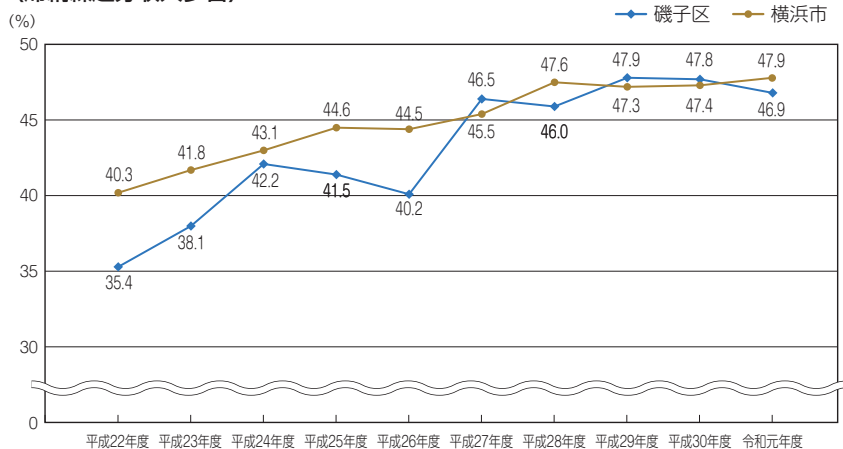
◆市税収入歩合

「収入歩合」とは確定した納付すべき額(調定額)に対する、実際に納付された額(収入済額)の割合です。また、前年度以前に課税されたもので課税した年度内に納付されず、翌年度以降に繰り越された税額を「滞納繰越分」といい、磯子区では滞納の解消・防止に向けた取組を行うことで、収入歩合の向上を目指しています。

〈市税収入歩合〉



〈滞納繰越分収入歩合〉

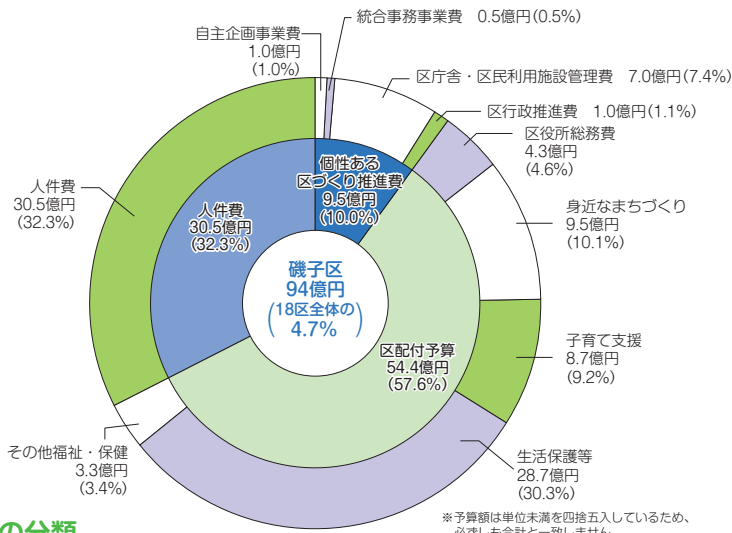


(磯子区税務課)

磯子区の予算（令和2年度一般会計予算）

令和2年度に磯子区が執行する予算の規模（区の人件費を含む。）は、下の円グラフのとおり、約94億円で、18区の予算全体のおよそ4.7%を占めています。

これは、磯子区民16万6,471人（令和2年4月1日現在）の一人当たりで換算すると、約5万6,466円を支出していることとなります。



◆予算の分類

区の予算は次のとおり大きく3つに分けることができます。

- 「個性ある区づくり推進費」……………約9億4,500万円
磯子区の予算の10.0%を占めています。この中には、「自主企画事業費」「統合事務事業費」「区庁舎・区民利用施設管理費」「区行政推進費」があり、区が自律編成する予算です。
- 「区配付予算」……………約54億4,200万円
磯子区予算のうち57.6%を占めています。局から予算配付を受け、区が執行する予算です。
- 「人件費」……………約30億5,300万円
磯子区予算のうち32.3%を占めています。磯子区の職員の人件費で、退職手当等は除いた試算額です。

（磯子区総務課）

<横浜市の財政情報>

「ひと目でわかる横浜の財政」は、予算や財政状況をわかりやすく説明した広報冊子です。区役所1階の広報相談係、横浜市市民情報センターなどで配布しています。 ※HPからご覧いただけます。

知ってほしい
横浜の財政情報

ひと目でわかる横浜の財政

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/jokyo/

選挙

◆各選挙の投票率 ～政治参加のバロメーター「投票率」は国政選挙と地方選挙で大きな差に～

各選挙の投票率をみると、投票率は近年共通して低下傾向にあります。また、国政選挙と地方選挙では投票率に顕著な差があり、地方選挙の投票率の低さが目立ちます。

【地方選挙】

〈統一地方選挙(市議会議員)〉

	平成19年 4月8日	平成23年 4月10日	平成27年 4月12日	平成31年 4月7日
磯子区	50.5%	48.3%	43.5%	43.0%
横浜市	48.2%	46.7%	42.0%	42.5%

〈市長選挙〉

	平成18年 3月26日	平成21年 8月30日	平成25年 8月25日	平成29年 7月30日
磯子区	38.0%	68.8%	30.0%	38.1%
横浜市	35.3%	68.8%	29.1%	37.2%

【国政選挙】

〈衆議院議員総選挙(小選挙区)〉

	平成21年 8月30日	平成24年 12月16日	平成26年 12月14日	平成29年 10月22日
磯子区	68.8%	59.1%	53.4%	51.0%
横浜市	68.9%	60.5%	54.1%	51.6%

〈参議院議員通常選挙(選挙区)〉

	平成22年 7月11日	平成25年 7月21日	平成28年 7月10日	令和元年 7月21日
磯子区	57.5%	55.2%	56.4%	49.5%
横浜市	56.7%	55.5%	56.5%	49.7%

〈区別投票率〉 ～参議院選挙では全ての区が前回は下回る結果に～

平成31年4月7日執行統一地方選挙における磯子区の投票率は43.02%(17区中9位)と、横浜市全体の投票率42.48%を上回ったものの前回の投票率43.45%を0.43ポイント下回る結果となりました。

また、令和元年7月21日執行参議院議員通常選挙における磯子区の投票率は49.54%(18区中10位)と、横浜市全体の投票率49.70%及び前回の投票率56.35%とも下回る結果となりました。

平成31年4月7日執行 統一地方選挙(市議会議員)

区	投票率	順位※	前回投票率	前回との差
鶴見区	40.61	14	39.79	0.82
神奈川区	無投票		39.39	-
西区	37.71	17	36.76	0.95
中区	38.01	16	40.38	-2.37
南区	42.75	10	41.87	0.88
港南区	43.71	6	44.25	-0.54
保土ヶ谷区	42.33	11	41.75	0.58
旭区	44.07	4	44.46	-0.39
磯子区	43.02	9	43.45	-0.43
金沢区	45.68	2	45.69	-0.01
港北区	41.39	12	40.04	1.35
緑区	43.09	8	44.01	-0.92
青葉区	41.30	13	39.97	1.33
都筑区	39.79	15	38.46	1.33
戸塚区	43.88	5	42.82	1.06
栄区	46.06	1	45.22	0.84
泉区	45.06	3	44.93	0.13
瀬谷区	43.67	7	45.46	-1.79
横浜市	42.48	-	42.00	0.48

※神奈川区は無投票だったため、17区の中での順位となります。

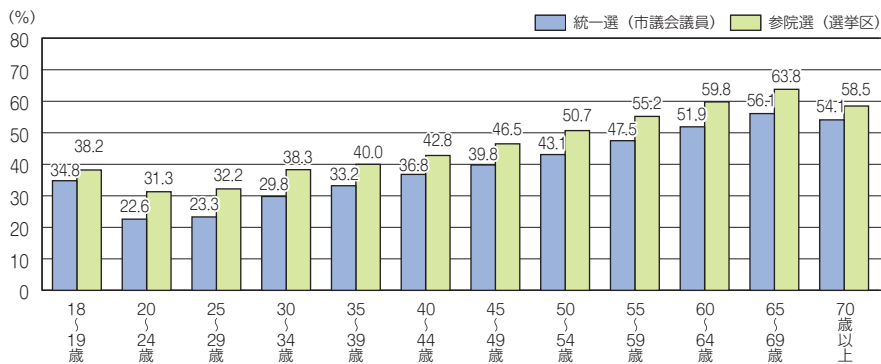
令和元年7月21日執行 参議院議員通常選挙(選挙区)

区	投票率	順位※	前回投票率	前回との差
鶴見区	46.58	17	53.11	-6.53
神奈川区	47.52	15	54.34	-6.82
西区	48.71	13	55.30	-6.59
中区	45.93	18	52.28	-6.35
南区	47.50	16	53.76	-6.26
港南区	51.44	4	58.28	-6.84
保土ヶ谷区	49.46	11	56.61	-7.15
旭区	49.93	7	56.26	-6.33
磯子区	49.54	10	56.35	-6.81
金沢区	53.48	1	60.25	-6.77
港北区	49.75	8	56.63	-6.88
緑区	49.55	9	56.68	-7.13
青葉区	51.92	3	58.99	-7.07
都筑区	49.45	12	56.46	-7.01
戸塚区	50.79	6	57.82	-7.03
栄区	52.84	2	60.27	-7.43
泉区	51.04	5	58.07	-7.03
瀬谷区	48.23	14	55.09	-6.86
横浜市	49.70	-	56.53	-6.83

(磯子区総務課)

〈年齢別投票率(磯子区)〉～若年層の投票率が低い状況が続く～

平成31年4月7日執行統一地方選挙、令和元年7月21日執行参議院議員通常選挙ともに20代から30代の投票率が低いのが目立ちます。このような状況を受け、磯子区では「小学6年生を対象とした給食選挙」や「磯子まつり・区内高校文化祭でのブース出展」、「子育て世代と未就学児向けのコンサート」などの啓発活動を通じて、若年層の投票率向上を呼び掛けています。



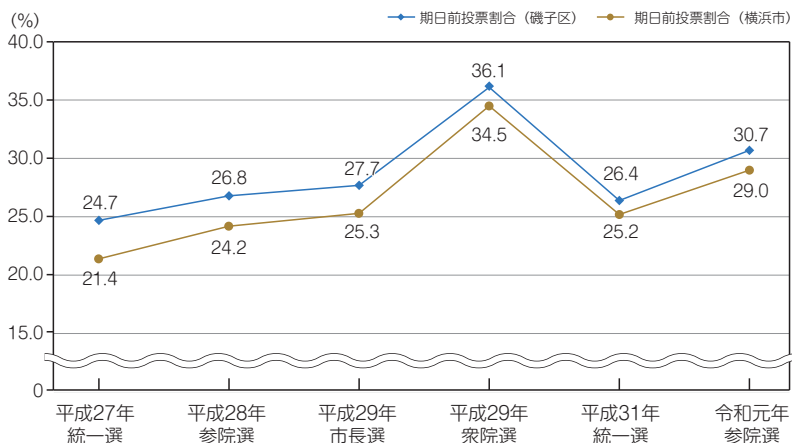
(磯子区総務課)

◆期日前投票割合の推移 ～期日前投票者の増加～

磯子区では、横浜市全体と同様に、各選挙における投票者数に占める期日前投票者数が増加傾向にあります。磯子区は投票者数に占める割合が、市全体よりも常に高くなっています。

磯子区には投票日前に投票できる期日前投票所が、2か所(区役所区民ホール・はまぎんこども宇宙科学館)あります。(当日投票所は区内に36か所あります。(令和元年参議院議員通常選挙時))

期日前投票は仕事やレジャー・旅行など投票日当日に用事があって投票所に行くことができない場合にご利用できます。



(磯子区総務課)

磯子区の歴史年表

〈 〉内の数は令和2年4月1日現在のものです。

元号	年月日	出来事
昭和2年	10月1日	区制施行により磯子区が誕生。同時に、鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区が誕生
	12月	西根岸町、滝頭町、丸山町、岡村町、磯子町、森町、中原町、杉田町、上中里町、氷取沢町、栗木町、田中町、峰町、矢部野町の14町で発足 磯子町に区役所・磯子警察署が完成
昭和5年	4月1日	湘南電気鉄道（現京浜急行電鉄）の黄金町～浦賀間、金沢八景～逗子間が開通
	7月10日	森駅（現屏風浦駅）が開業 杉田駅が開業
昭和6年	1月30日	滝頭町（現磯子一丁目）にじんかい処理所が完成（昭18.6月休止）
昭和12年	10月1日	磯子区制10周年
昭和16年	2月1日	軍が杉田町地先5万坪を埋め立てる。また、中根岸町を埋め立て、飛行場を開場
昭和20年	4月15日	滝頭町、原町、中根岸町の一部521戸が空襲で焼失
	5月29日	西根岸上町、西根岸馬場町、滝頭町、丸山町の一部171戸が空襲で焼失
昭和21年	10月7日	区選挙管理委員会を設置
昭和22年	4月1日	町内会の行政事務が区に引き継がれる
	4月1日	学校教育法が施行され、新学制が始まる。磯子、杉田、根岸、滝頭、浜の5つの国民学校が小学校となる（現在16校）
	5月5日	根岸中学校、浜中学校が開校（現在7校）
	10月1日	磯子区制20周年
昭和23年	3月7日	警察制度の改革により、横浜市磯子警察署となる（昭26.7.1神奈川県磯子警察署となる）
	5月15日	磯子区から金沢区が分離・独立
昭和25年	5月25日	岡村公園が開園
昭和26年	4月1日	区社会福祉協議会結成
昭和30年	1月	磯子区役所庁舎の大改築が完了
	4月1日	市電の八幡橋～間門間が開通（昭47.3.31市電全廃）
昭和31年	8月3日	杉田貝塚の発掘を開始
昭和32年	10月1日	磯子区制30周年
	11月16日	磯子消防署・磯子公会堂新築落成の祝典を挙げる
昭和34年	5月23日	根岸線の建設工事に着工
昭和36年	7月22日	三殿台埋蔵文化財調査委員会が発掘調査を開始（昭41.4.2国の史跡に指定）
昭和37年	4月1日	県立磯子工業高等学校が開校
昭和38年	5月25日	汐見台団地の入居を開始
昭和39年	5月3日	埋立地内の産業道路の全線が開通
	5月19日	根岸線の桜木町～磯子間の営業を開始
昭和40年	7月1日	横浜プールセンター（マンモスプール）を原町に開設
昭和41年	7月19日	南部下水処理場が完成（平17.4.1「南部水再生センター」に名称変更）
昭和42年	6月10日	磯子区総合庁舎の落成式を挙げる（磯子三丁目）
昭和42年	10月1日	磯子区制40周年
昭和43年	4月1日	衛生研究所が滝頭に完成（平26.12.1金沢区に移転）
昭和44年	5月13日	円海山周辺を近郊緑地特別保存地区に指定

元号 年 月 日	出 来 事
昭和45年 3月17日 6月1日	根岸線の磯子～洋光台間の営業を開始 洋光台団地の入居を開始
昭和48年 8月25日	市電保存館が開館
昭和49年 10月1日 10月5日	南部児童相談所を洋光台に開設 磯子センター（磯子地区センター、喜楽荘、磯子図書館）が開館（平 11.11 図書館は磯子区総合庁舎に移転）
昭和50年 5月9日	第1回磯子区民会議を開催
昭和51年 4月1日 6月24日	公害研究所が滝頭に完成（平 3. 6 「環境科学研究所」に名称変更、平 27. 4. 1 神奈川区に移転） 県道横浜逗子線（笹下釜利谷道路）が開通
昭和52年 10月1日	磯子区制 50 周年
昭和56年 2月26日	横浜市南部地域シルバー人材センターが開所（平 2. 4 「シルバー人材センター 磯子事務所」に名称変更）
昭和58年 5月1日 10月29日	いそご海づり場が根岸湾の埋立地である新磯子町の最先端に完成（平 14.10.1 「磯子海づり施設」に名称変更） 区のシンボルマークを制定
昭和59年 1月18日 5月4日	環境事業局磯子輸送事務所が開所（平 17. 3.31 廃止） 横浜子ども科学館が開館（平 20. 4. 1 「はまぎん 子ども宇宙科学館」の愛称へ）
昭和60年 8月1日	市南部地域療育センターが開所
昭和61年 3月	都市計画道路環状2号線（笹下地区）が完成
昭和62年 2月15日 10月1日 10月6日	磯子スポーツセンターが開館 磯子区制 60 周年 区の木「梅」、区の花「コスモス」を制定 久良岐能舞台が開館
平成元年 7月5日	金沢シーサイドラインが開通
平成5年 9月4日	洋光台駅前公園子どもログハウスが開館
平成6年 4月1日 4月19日 11月8日	根岸在宅支援サービスセンターが開所（平 7. 1 「根岸地域ケアプラザ」に名称変更） 根岸地区センターが開館（現在4か所） 磯子区生涯学習支援センターが開所（平 21. 3.25 から「いそご区民活動支援センター」）
平成8年 8月1日	新杉田駅前に行政サービスコーナー、地域ケアプラザ、通所授産施設「ぼこ・あ・ぼこ」の複合施設を開設
平成9年 9月2日 10月1日 10月25日	洋光台地域ケアプラザが開所 磯子区制 70 周年 区の木・区の花のデザインマーク、区のイメージソング「みんなの I SOGO」を制定
平成11年 4月14日 7月14日	環状3号線（南側区間）が開通 国道 357 号線（新杉田町～新磯子町）が開通
平成11年 8月1日 10月18日 11月15日	脳血管医療センターが万治病院跡地に開院、併せて老人保健施設が開所（平 27.1 脳卒中・神経脊椎センターに名称変更） 磯子土木事務所が磯子三丁目に移転 磯子区総合庁舎（区役所、公会堂、図書館）が改築され、業務を開始
平成12年 4月1日 8月1日	磯子第二ポンプ場の供用を開始 磯子地域ケアセンターが開所（平 15. 4. 1 から「磯子地域ケアプラザ」）

元号 年 月 日	出 来 事
平成13年 2月15日 10月22日	磯子区福祉保健活動拠点が開所（平 21.12.13 「こすもす広場」に愛称決定） 高速湾岸線の杉田～三溪園間が開通
平成14年 1月1日 9月1日	磯子福祉保健センターが開所 横浜市総合防災訓練を実施（石川島播磨重工業内グラウンド）
平成15年 2月1日 8月	根岸なつかし公園が開園 磯子区まちづくり方針（都市計画マスタープラン・磯子区プラン）策定
平成16年 3月1日 5月15日	滝頭地域ケアプラザが開所 磯子区青少年図書館を転換し滝頭コミュニティハウスが開館（現在7か所）
平成17年 1月4日 1月16日 2月5日 3月28日	いそご地域活動ホーム「いぶぎ」が開所 ＪＲ洋光台駅近くに「洋光台防犯活動本部」が開所（防犯活動拠点は現在10か所） 磯子区民文化センター「杉田劇場」が開館 環状2号線屏風ヶ浦バイパスが開通
平成18年 4月1日 6月30日 11月1日	磯子区地域福祉保健計画の案内役「梅さん」を制定 横浜プリンスホテルが閉業 屏風ヶ浦地域ケアプラザ、生活支援センターが開所
平成19年 5月14日 10月1日	磯子・海の見える公園が開園 磯子区制80周年
平成20年11月1日	よこはま南部ユースプラザが開所
平成21年 3月25日	いそご区民活動支援センターが開所
平成22年 1月19日	磯子区地域子育て支援拠点「いそピヨ」グランドオープン（体験利用は平 21.11.27 より開始）
平成23年 4月1日 9月1日 10月3日	上笹下地域ケアプラザ開所（現在7か所） 区のマスコットキャラクター「いそっぴ」を制定 たしがしら会館の市民利用開始 水道局磯子・金沢地域サービスセンターが磯子三丁目に移転
平成25年 5月15日	氷取沢小学校跡地公園が開園
平成26年 3月31日 7月5日 12月1日	国道357号線（中区千鳥町～磯子区新磯子町）が開通 金沢シーサイドライン開業25周年 衛生研究所が金沢区に移転
平成27年 4月1日 11月16日	環境科学研究所が神奈川区に移転 磯子区在宅医療連携拠点相談室「かけはし」が開所
平成28年 3月31日 4月1日	水道局磯子・金沢地域サービスセンター閉所 洋光台水道事務所開所 県立汐見台病院が医療法人社団康心会へ移譲
平成29年 3月26日 3月31日 7月20日 10月1日 11月28日	杉田臨海緑地の拡張と杉田臨海緑道の完成 新杉田行政サービスコーナーが開所 新杉田行政サービスコーナー跡に「新杉田交流スペース」が開所 磯子区制90周年 磯子区青少年の地域活動拠点「イソカツ」が開所
平成30年 3月23日 4月8日 6月1日	磯子区まちづくり方針（都市計画マスタープラン磯子区プラン）改定 磯子区休日急患診療所移転 よこはま南部ユースプラザ移転
令和2年 4月1日	県立横浜氷取沢高等学校が開校 （県立氷取沢高等学校・県立磯子高等学校の再編・統合）



■アクセス

〒235-0016
 磯子区磯子3-5-1
 JR磯子駅西口 徒歩5分
 有料②あり

■ホームページ



コラム④

各種統計調査の紹介

統計調査の結果は、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料として活用されています。また、企業や学校などの研究資料や教材として幅広く利用されます。

主な基幹統計調査

調査名	周期	次回期日	調査名	周期	次回期日
学校基本調査	毎年	令和3年(2021年)5月1日	経済センサス-基礎調査	5年	令和6年(2024年)実施予定
経済センサス-活動調査	5年	令和3年(2021年)6月1日	全国家計構造調査	5年	令和6年(2024年)10月~11月
就業構造基本調査	5年	令和4年(2022年)10月1日	農林業センサス	5年	令和7年(2025年)2月1日
住宅・土地統計調査	5年	令和5年(2023年)10月1日	国勢調査	5年	令和7年(2025年)10月1日
漁業センサス	5年	令和5年(2023年)11月1日			

【お問合せ】磯子区総務課
 電話 750-2316 FAX 750-2530

この冊子に掲載されている統計情報は、磯子区のホームページでも提供しています。また、横浜市ホームページ内「統計情報ポータルサイト」では、横浜市の最新の人口・世帯数や主要な統計情報を提供しています。併せてご利用ください。

磯子区ホームページ内「統計」



横浜市ホームページ内「統計情報ポータル」



発行元 磯子区総務課統計選挙係
 〒235-0016 横浜市磯子区磯子三丁目5番1号
 電話(045)750-2316・2317 FAX(045)750-2530
 E-mail : is-toukei@city.yokohama.jp
 印刷 山王印刷株式会社



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和2年12月発行